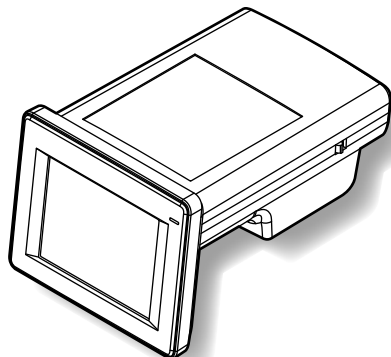
GPS 搭載液晶表示＋タッチパネル方式
ソーラーレーダー

GL957

取扱説明書／保証書

この度はベストワンシリーズをお買い求めいただきまして誠にありがとうございます。本書には取付け及び操作手順が説明されております。正しくご使用いただく為に本書をよくお読みのうえ、ご使用ください。尚、読み終えた後、いつでも見られるよう大切に保管してください。

本書の見かた

⇒ PXX	参照先を記載しています。(XX はページ)
アドバイス	本製品に関する補足情報を説明しています。
	ソーラーバッテリーで作動している場合に対応する内容を説明しています。
	シガープラグ電源で作動している場合に対応する内容を説明しています。
	GPS を受信している場合に対応する内容を説明しています。

各種設定操作は、設定操作（⇒ P45）を参照してください。

COMTEC

目次

ご使用上の注意

ご使用の前に、この「ご使用上の注意」をよくお読みのうえ、正しくお使いください。また、注意事項には危害や損害の大きさを明確にする為に誤った取扱いをすると生じる、または想定される内容を「警告」･「注意」の 2 つに分けています。

⚠ **警告** **警告を無視した取扱いをすると、使用者が死亡や重傷を負う原因となります。**

⚠ **注意** **注意を無視した取扱いをすると、使用者が障害や物的損害を被る可能性があります。**

⚠ 警告
●本製品を分解・改造しないでください。火災、感電、故障の原因となります。
●運転者は走行中に本製品を絶対に操作しないでください。同乗者の方が操作を行ってください。
●本製品は電子部品を使用した精密機器のため、衝撃を与えないでください。故障の原因となります。
●本製品は、運転や視界の妨げにならない場所に取付けてください。また、自動車の機能（エアバッグ等）の妨げにならない場所に取付けてください。事故や怪我の原因となります。
●本製品が万一破損・故障した場合は、すぐに使用を中止して販売店へ点検・修理を依頼してください。そのまま使用すると火災・感電・車の故障の原因となります。
●本製品を水につけたり、水をかけたりしないでください。火災・感電・故障の原因となります。
●本製品を医療機器の近くで使用しないでください。電波により医療機器に影響を与える恐れがあります。

⚠ 注意
●本製品にはお買い上げの日から 1 年間の製品保証がついています。（但し、内蔵電池、テープ等の消耗品は保証の対象となりません。）
●本製品の近くに他の GPS 機能を持つ製品を設置しないでください。誤作動を起こす可能性があります。
●GPS 衛星の電波を受信できない下記のような場所では、本製品の GPS 機能が働かない為、GPS による警報、表示、メモリー機能が正常に働きません。（トンネル・地下道･建物の中･ビル等に囲まれた場所･鉄道や道路の高架下･木々の多い森の中等）
●車載テレビ等で UHF56 チャンネルを受信（設定）していると、GPS 衛星を受信できないことがあります。そのような場合、車載テレビ等のチューナー部から離し、GPS 受信に影響のない衛星の受信箇所へ本製品を取付けてください。

ご使用上の注意

⚠ 注意
●本製品の受信機能は、製品仕様覧に記載されている周波数帯のみ有効です。
●電源を分岐して使用している場合、電流が足りず電源が不安定になることがあります。
●本製品の GPS 警報は、予め登録されたオービス・W オービス・N システム・チェックポイント・信号無視監視ポイント・警戒ポイント・ポリスエリア・事故ポイント・SA/PA/HO（サービスエリア／パーキングエリア／ハイウェイオアシス）、道の駅ポイント、トンネルポイント、急カーブポイント、駐車監視エリア、分岐合流ポイント、県境ポイント等とお客様が任意で登録した位置のみ有効です。また、シガープラグコードを接続しないと警報しない機能があります。
●一部ナビゲーションシステム、車載用 BS チューナー、CS チューナー、地上波デジタルチューナーや衛星放送受信機等の車載電子機器で漏れ電波が取締り機と同じ周波数の場合、本製品のレーダー受信機能が受信することがあります。
●本製品の制限速度データは、調査した時期以降に制限速度が変更等の理由により、実際の制限速度と異なる場合があります。運転する際は必ず、実際の交通規制に従い走行してください。
●取締り機と同一周波数のマイクロ波を使用した機器（下記）周辺で本製品のレーダー受信機能が受信することがありますが､誤動作ではありません。予めご了承ください。（自動ドア・防犯センサー・車両通過計測器・気象用レーダーの一部・航空用レーダーの一部）
●一部断熱ガラス（金属コーティング・金属粉入り等）、一部熱吸収ガラス、一部のミラー式フィルム装着車の場合、GPS・レーダー波等の電波が受信できない場合があります。
●内蔵バッテリーは約 3 年が交換時期の目安となりますが、使用状況によっては寿命が短くなります。
●部品の交換修理、パーツ購入に関しましては、販売店にお申し付けください。
●本製品を厳寒地や曇りの日が続く時にご使用になる場合、内蔵バッテリーの性能が十分に発揮できない場合があります。付属のシガープラグコードを接続してご使用ください。
●環境保護と資源の有効利用をはかる為、寿命となった本製品、内蔵バッテリーの回収を弊社にて行っています。
●本製品の故障による代替品の貸出は弊社では一切行っておりません。
●本製品の仕様及び、外観は改良の為、予告なく変更することがあります。ご了承ください。
●本製品は DC12V 車専用です。（DC24V 車へのお取付けはできません。）
●キーを OFF にした時、シガープラグの電源が 0V にならない車両（外車など）の車両バッテリーを保護する為、エンジンを始動していない時は必ずシガープラグコードを抜いて使用するか、弊社オプションの SS-063 電源配線ユニットでイグニッション電源に直接接続してください。
●電池カバーを開ける時は、ネジにあったプラスドライバーが必要になります。

※ 本製品を取付けての違法行為（スピード違反等）に関しては、製品動作有無にかかわらず一切の責任を負いかねます。

知っておきたいこと

● **GPS とは**

「Global Positioning System」アメリカ国防総省の衛星を利用し、地上での現在位置を計測するシステムです。

● **GPS レシーバーの警報システム**

衛星からの電波を受信して現在位置・移動方向・移動速度を算出し、あらかじめ登録してある各データ（座標データ等）とを比較演算し、接近すると警報を行います。

● **間欠動作システム**

本製品をソーラーバッテリーでご使用の場合は、長時間使用できるよう省電力設計をし、GPS 受信を間欠動作させることで、より一層消費電力の軽減を行っています。その為、GPS 機能（警報、登録等）において、若干の時間差が発生する場合があります。また内蔵バッテリーの残量が減る（40% 以下になる）と GPS 受信機能が停止されます。（⇒ P22）

● **連続動作システム**

シガープラグコードを接続し有線使用して頂ければ、GPS 受信を連続動作で行う為、より安定した状態でのご使用が可能です。

● **衛星受信開始時間／受信復帰時間**

レーダー本体の電源 ON から衛星受信を行う迄の時間と走行中、トンネル・高架下・屋内等で一時的に GPS 衛星が受信できない場所から受信できる場所へ移動した時、再受信するまでの時間。
（高架下等にオービスがある場合は衛星受信ができず、警報が行えない場合があります。注意してください。）

受信開始時間

衛星受信できない状態	衛星受信迄の復帰時間
10 秒以下	2 秒程度
10 秒〜 60 秒	5 秒程度
60 秒以上	10 秒以上

受信復帰時間

前回、電源 OFF してからの時間	衛星受信迄の時間
〜 5 時間	〜 10 秒程度
〜数日間	〜 1 分程度
ご購入後又は、1ヶ月程度以上	〜 5 分程度

※ 参考数値です。実際の使用される場所によっては時間が変わります。

● **衛星データ**

本製品は、一旦 GPS 衛星を正常に受信した後、衛星の移動軌跡を計算し記憶します。これは走行時にトンネル等で衛星受信ができなくなった場合、再受信するまでの処理を速める為です。また、まれに GPS 受信が長時間に渡ってできない場合があります。

ご使用上の注意

● **GPS 測定誤差について**

本製品の測位計測機能は衛星の受信状態等により、約 50m 程度の測定誤差が出る場合があります。

● **GPS 衛星受信と車載電子機器**

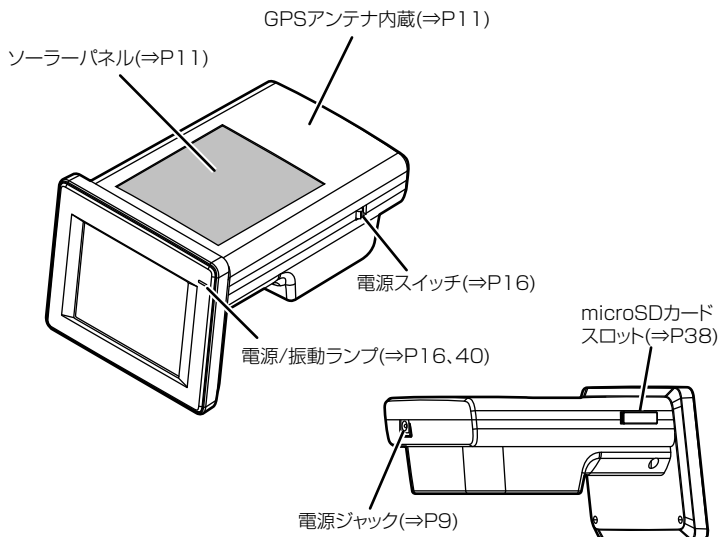
車載テレビ等で UHF56 チャンネルを受信（設定）している時やナビゲーション本体や、地デジチューナー及び衛星放送受信機等の車載電子機器からの漏れ電波により、GPS 衛星を受信できないことがあります。そのような場合、車載電子機器から離し GPS 衛星の受信に影響のない箇所へ本製品を取付けてください。

● **ディスプレイについて**

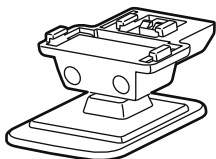
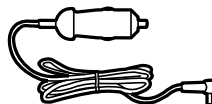
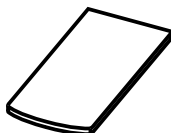
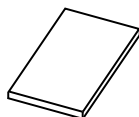
ディスプレイは周囲の温度が約 75℃以上になるとディスプレイの全体が黒くなったり、約－ 10℃以下になると画像が遅れて表示されたり、表示された画像が消えるのに時間がかかったりします。これは液晶ディスプレイの特性であって故障ではありません。周囲の温度がディスプレイの安定動作する温度になると元の状態に戻ります。

※ 上記の状態でディスプレイに表示されていない場合でも、その他の機能は正常に作動します。

各部の名称

レーダー本体

※ microSD カードは別売りです。

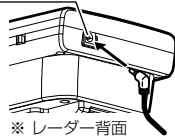
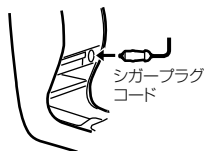
梱包内容

ステー（1 個）

シガープラグコード（1 個）

両面テープ（1 枚）
（ステー固定用）

粘着シート（1 枚）
（ステー固定用）

ご使用の前に

ご使用前に必ず十分な充電を行ってください。
※シガープラグコードを接続した状態で使用する場合はそのままご使用ください。

- 本製品は、お買い上げ時には検査用予備充電のみされており、長時間、充電しないとバッテリーが自然放電します。初めてご使用になる時や内蔵バッテリーが消耗した時は、必ず付属のシガープラグコードを使用し、エンジンをかけて４時間以上充電してください。（充電は断続的に行うことも可能ですが、その場合は目安として８時間以上充電してください）
- 通常の使用状況において、ソーラーバッテリー動作時に、より長時間動作するように設計されていますが、ソーラーパネルの補充電のみで使用することはできません。また、下記のような場合、発電量が不足し、連続作動時間が短くなる場合があります。ローバッテリーサイン（内蔵バッテリー充電不足）が表示された場合、付属のシガープラグコードを使用して充電を行ってください。
  1. 屋内駐車場･ガレージ等、太陽光の直接当たらない場所での長時間駐車。
  2. 冬季・梅雨時等、曇りの日が続き日照時間が少なくなる。
  3. 高速道路・交通量の多い道路・鉄道の線路近く等、絶えず振動を受けて動作状態になる。
  4. 夜間走行の頻度が多い。
  5. 全ての機能を ON にした状態で長時間使用する。
- 本製品に搭載している GPS 受信機能は、従来のレーダー探知機に比べ、より多くの電力を必要とし、ご使用条件によっては電池の消費が早い場合があります。また、ソーラーバッテリー動作時は、全ての受信機能を間欠動作しますが、付属のシガープラグコードを接続して使用する場合は、連続動作となり、より安定した状態でのご使用が可能です。
- 車両のシガープラグコード接続で充電が困難な場合（長時間エンジン始動ができない場合など）、弊社オプションの SS-065AC100V 専用充電器で家庭用（100V）コンセントから充電することができます。

レーダー本体を充電する

1. レーダー本体の電源ジャックに付属のシガープラグコードを差込みます

2. 車両シガーソケットに付属のシガープラグコードを差込みます

3. 車両のエンジンを始動した状態で充電を行ってください

アドバイス

バッテリー電圧が極端に低下した場合は、シガープラグコードを接続して、レーダー本体の電源スイッチを一旦 OFF にし、再度 ON にしてください。

ソーラーバッテリーとシガープラグ電源

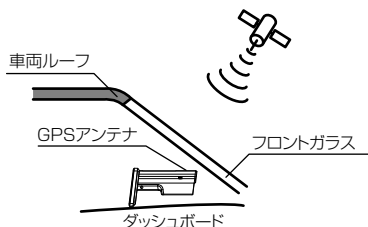
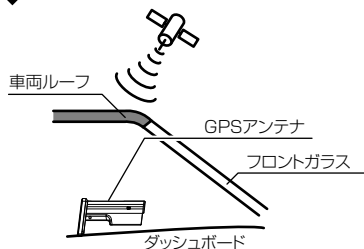
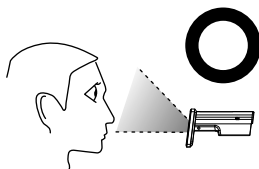
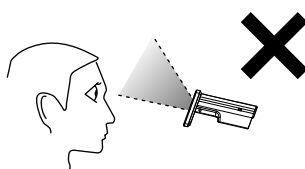
本製品はソーラーバッテリー動作時に、より長時間動作するように設計されています。またシガープラグコード接続時は、電源が安定することにより、GPS機能をフル活用できるよう設計されています。
ソーラーバッテリー動作、シガープラグコード接続動作で、下記表の機能が変わります。

<table>
<tr><th colspan="2">電源の使用状態</th><th>ソーラーバッテリー</th><th>シガープラグ電源</th></tr>
<tr><td colspan="2">GPS 受信（⇒ P5）</td><td>間欠受信</td><td>連続受信</td></tr>
<tr><td colspan="2">ASC 機能（⇒ P48）</td><td>ASC-V
（振動センサー利用）</td><td>ASC-i
（GPS データ利用）</td></tr>
<tr><td colspan="2">LSC 機能（⇒ P50）</td><td>LSC-V
（振動センサー利用）</td><td>LSC-i
（GPS データ利用）</td></tr>
<tr><td colspan="2">バッテリーチェック機能（⇒ P22）</td><td>あり</td><td>なし</td></tr>
<tr><td rowspan="2">GPS警報</td><td>オービス／ユーザー登録
ポイント警報（⇒ P58）</td><td>1km 手前より警報</td><td>2km 手前より警報
※高速のみ</td></tr>
<tr><td>ポリスエリア（⇒ P67）、
事故ポイント（⇒ P68）、
急カーブポイント（⇒ P69）、
道の駅ポイント（⇒ P69）
トンネルポイント（⇒ P70）、
県境ポイント（⇒ P70）、
分岐合流ポイント（⇒ P71）、</td><td>警報しない</td><td>警報する</td></tr>
<tr><td>無線警報</td><td>署活系（⇒ P79）、
ワイド（⇒ P79）、
取締特小（⇒ P80）、
警察活動（⇒ P80）、
警察／消防ヘリテレ（⇒ P81）、
新救急（⇒ P82）、
消防（⇒ P82）、
高速管理車両（⇒ P83）、
レッカー（⇒ P83）、
警備（⇒ P84）、
タクシー（⇒ P84）</td><td>警報しない</td><td>警報する</td></tr>
<tr><td colspan="2">待機画面</td><td>待機時は非表示
警報時および操作時は表示</td><td>常に表示</td></tr>
</table>

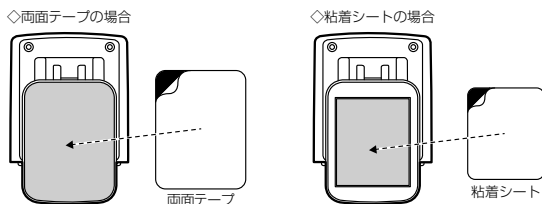
※ 表にない項目は機能制限されません。

取付け方法

レーダー本体を取付ける

- フロントガラスが UV カットガラス等の場合、ソーラーパネルへの光量不足の為、正常な充電ができない場合があります。付属のシガープラグコードをご使用ください。
- 運転や視界の妨げにならず、車両の機能（エアバッグ等）に影響のない場所に取付けてください。
- GPS アンテナ上方向、前方向に遮蔽物があると GPS 衛星からの電波が受信できなくなります。取付け位置には十分注意してください。
- 道路に対して平行、レーダー受信部を進行方向に向けて取付けてください。

- レーダー本体の取付ける場所、角度によって液晶の特性上、ディスプレイが見えにくくなる場合があります。ディスプレイが視界の正面になると一番見やすくなるように設計されていますので、ディスプレイが視界の正面になるようにレーダーを取付けてください。

●見やすい取付け
ディスプレイの角度が視界の正面の取付け

●見にくい取付け
ディスプレイの角度が視界の正面よりずれている取付け

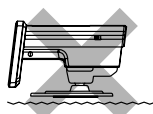
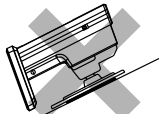
取付け方法

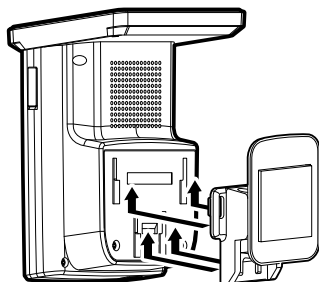
1. ステーに両面テープまたは粘着シートを取付けます

⚠ 粘着シート使用上の注意

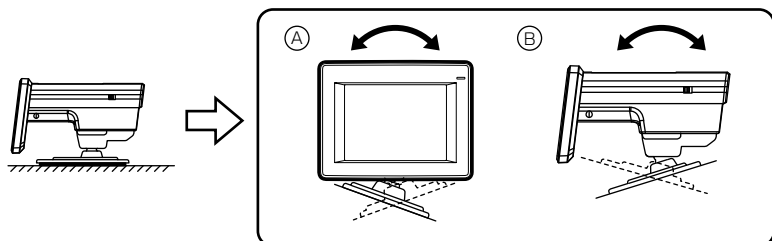
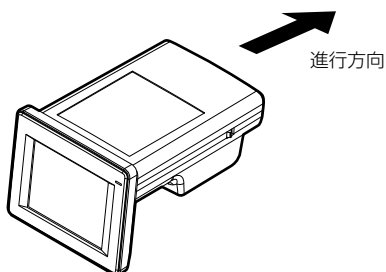
- 粘着シートは汚れたり、ほこりがついたりして粘着力が弱まった場合、中性洗剤を使い洗うと粘着力が戻り、再度使用することができます。
- 粘着シートは以下のような場所に取付けると貼付きにくく、不安定になることがあります。そのような場合は両面テープを使用して取付けてください。

①取付け面が平坦な場所ではない。

②取付け面が傾斜になっている。

③ダッシュボード表面の凸凹が荒い。

- ダッシュボードが変色したり、跡が残ったりすることがあります。あらかじめご了承ください。

2. レーダー本体裏面のステー取付け穴にステーのフックを差込み、「カチッ」と音がするまでスライドします

3. 濡れたタオルなどでダッシュボード上を拭き、きれいにしてから固定します。レーダー本体が地面と平行になるようⒶ、Ⓑのように角度を調整します

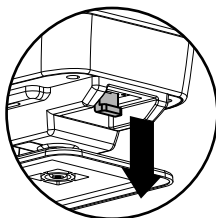
⚠ 警告
エアバッグの飛び出し場所等、運転や視界の妨げにならない場所に取付けてください。 **誤った場所への取付けは、事故の原因となります。**

4. レーダー本体後部が、車両の進行方向に向くように調整します

5. シガープラグ電源を使用する場合は、シガープラグコードを接続します

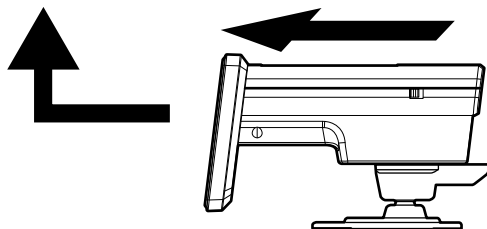
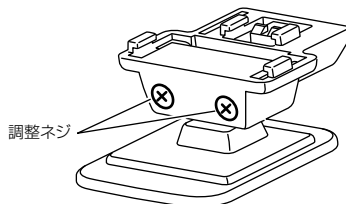
アドバイス

一部の外車など、エンジンを停止してもシガープラグに 12V 電圧がある車は、オプション（別売品）の電源配線ユニット（SS-063）を使用してください。

取付け方法

レーダー本体を取外す

1. ステー裏側のツメを押し下げます

2. ステーを押さえながらレーダー本体をスライドさせて取外します

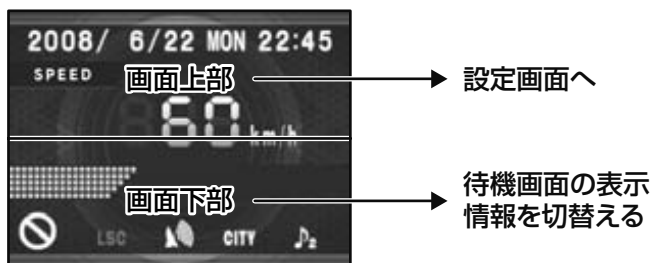
⚠ 注意

**長い間使用するとステーのジョイントがゆるみ、本体が傾くことがあります。
その場合には、本体からステーを外し、調整ネジをプラスドライバーで左右均等に少しづつ締めてください。調整ネジを締めた後は、本体を元の位置に戻してください。**

基本操作

タッチパネルの操作をする

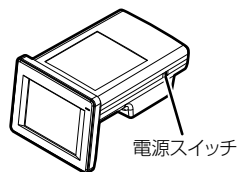
- 画面上に表示される【タッチキー】に軽く触れる（タッチする）ことにより、操作を行います。

⚠ 注意
・運転者は、走行中に本製品を絶対に操作しないでください。必ず同乗者が操作を行ってください。 ・画面のタッチは指で軽く触れてください。 ・画面の反応がないときは、一度指を離してから再度タッチしてください。 ・画面を強く押したり、先の鋭いもので押さないでください。タッチパネルが割れて、ケガの原因となります。 ・画面を見やすい角度に調整してご使用ください。

待機画面での操作

待機画面では画面上部をタッチすることで設定画面（⇒ P45）へ、画面下部をタッチすることで待機画面の情報（⇒ P24）を切替えます。

基本操作

電源を入れる

1. レーダー本体の電源スイッチを ON にする

2. 電源設定を変更する

・本製品はソーラーバッテリー動作とシガープラグコード接続動作（12V）を切替えることができます。
・お買い上げ時は、【SOL】に設定されています。

設定方法

1）待機画面の上部をタッチしてメニュー画面を表示させる

2）【設定】をタッチする

3）【機能設定】をタッチする

4）【▲】【▼】をタッチして［電源設定］を表示させる

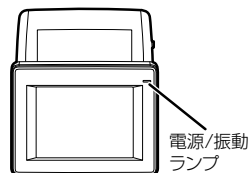
5）【12V】【SOL】を選択する

- 【12V】............. 12V 電源使用（シガープラグコード接続）
- 【SOL】.............ソーラーバッテリー使用

アドバイス

・ソーラーバッテリー動作とシガープラグコード接続動作（12V）で機能が異なります。（⇒ P10）
・エンジンを停止してもシガープラグに電圧が 12V ある車（一部外車など）は、必ずシガープラグコードを配線する場合にオプション SS-063「電源配線ユニット」を使用してください。

3. 電源 / 振動ランプを確認する

ソーラーバッテリー	シガープラグ電源
点滅	点灯

4. GPS 衛星の受信アナウンスを確認する。数秒～数分かかる場合があります

受信アナウンス
「ピンポン 衛星を受信しました。」

GPS 衛星の受信ができないときは
「ジャン 衛星を受信できません。」とアナウンスされた場合は、GPS 衛星を正確に受信できていません。

⚠ 注意
設定を【12V】にした状態で､シガープラグコードを外して電源を ON にしてもエラー画面が表示され、一切の操作ができません。【12V】から【SOL】に設定を変える際は必ず、シガープラグコードを接続した状態で行ってください。

基本操作

ディスプレイ表示

待機画面例

待機画面の表示を【サイバー 1】と【サイバー 2】の 2 種類から選べます。(⇒ P23)

●サイバー 1 (初期設定)

●サイバー 2

表示内容の変更によりスピード／進行方向／運転時間／標高／車両電圧／ GPS 受信数表示／ドライブインフォ／自宅アシスト／目的地アシストを表示することができます。(⇒ P24,25)

アイコンについて

待機画面時に以下のアイコンが表示されます。

	アイコン	表示内容	参照ページ
①		駐車監視エリアを表示	P72
②	LSC LSC	LSC 機能の作動状態を表示	P51
③		レーダーの受信感度を表示	P49
④	ALL CITY HWY	走行エリアの設定を表示	P44
⑤		警報音の設定を表示	P54

警報画面例

GPS 警報 (オービス式)

●スタンダードタイプ表示(初期設定)

●ロックオンオービス表示

●ナビゲーションスコープ表示

GPS 警報 (オービス以外)

警報内容

スピード

W オービス / 警戒ポイント /N システム / ポリスエリア / チェックポイント

サービスエリア：HIGH WAY

SERVICE AREA

標識風イラスト

左記警報以外の GPS 警報

レーダー、ステルス警報

受信種類

スピード

受信レベル

無線警報

発信元電波距離

遠い
近い
接近
回避

受信レベル

（カーロケ・デジタル・ワイド無線）
※回避はカーロケのみ

電波受信レベル

350.1MHz無線：強い

LEVEL4

強い
弱い

受信レベル

（カーロケ・デジタル・ワイド無線以外）

基本操作

バックライトの明るさを変える

・昼間と夜間のディスプレイの明るさを任意で４段階に切替えができます。
・お買い上げ時は、【3】に設定されています。

1. 待機画面の上部をタッチしてメニュー画面を表示させる
2. 【設定】をタッチする
3. 【機能設定】をタッチする
4. 【▲】【▼】をタッチして［バックライト光量（昼）］または［バックライト光量（夜）］を表示させる

<バックライト昼設定>

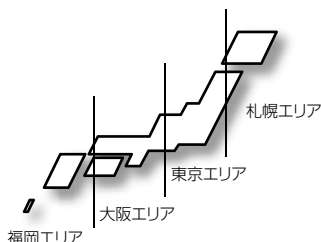
<バックライト夜設定>

5. 【1】【2】【3】【4】の４段階で調整する
   ・設定画面の明るさを目安に調整を行ってください。
   ・［バックライト光量（夜）］画面に切替えると、バックライトの明るさも連動してオートディマー作動時の明るさに切替わります。

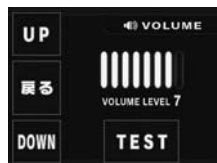
アドバイス

・通常時とオートディマー作動時とでは、バックライトの明るさが異なります。

オートディマー機能

・本製品は時刻や明るさによって、バックライトの明るさを自動的に調整するオートディマー機能を採用しています。
・ソーラーパネルの発電量を利用して明るさを自動的に調整します。
・GPS 情報を利用した場合、各エリアを中心に時季（2～４月 /5～７月 /8～10 月 /11～１月）の日の出と日の入り時刻の統計を基にオートディマー作動時刻を決めています。

音量を調整する

- ディスプレイを確認しながら、9 段階の音量調整ができます。
- お買い上げ時の音量は、【5】に設定されています。

1. 待機画面の上部をタッチしてメニュー画面を表示させる
2. 【音量】をタッチする
3. 【UP】【DOWN】をタッチして【0】〜【8】の9 段階で調整する
   - ・音量を【0】にすると消音になります。
   - ・【TEST】をタッチすると「この音量に設定します」と調整した音量でアナウンスします。

オートボリュームダウン機能

本製品は、レーダー受信警報してから約 15 秒後に、警報音のボリュームを自動的に小さくします。一度警報が解除されると、元の警報音のボリュームに戻ります。

操作音の設定をする

・タッチパネル操作時の確認音を【OFF】か【ON】に設定できます。
・お買い上げ時は、【ON】に設定されています。

1. 待機画面の上部をタッチしてメニュー画面を表示させる
2. 【設定】をタッチする
3. 【機能設定】をタッチする
4. 【▲】【▼】をタッチして［タッチ音設定］を表示させる
5. 【OFF】【ON】を選択する

内蔵バッテリーの状態をチェックする

- 内蔵バッテリーの状態を確認することができます。

1. 待機画面の上部をタッチしてメニュー画面を表示させる
2. 【BT 残量】をタッチする
   - ・シガープラグコード接続時に【BT 残量】にタッチすると、『ブッ』というエラー音が鳴ります。

<table>
<tr><th>アナウンス / 表示画面</th><th>内容</th><th>内蔵バッテリー状態</th></tr>
<tr><td>チャラーン バッテリーは十分です</td><td rowspan="2">全ての受信機能は作動します。</td><td rowspan="2">充電良好です。</td></tr>
<tr><td>チャラーン バッテリーは 60%です</td></tr>
<tr><td>チャラーン バッテリーは 40%です</td><td rowspan="2">バッテリー残量によって GPS 機能のみを停止、または全受信機能を停止します。</td><td>充電をお薦めします。</td></tr>
<tr><td>ジャン バッテリーは 20%です</td><td>充電が必要です。</td></tr>
</table>

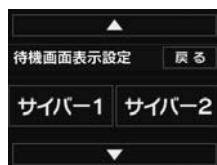
- 内蔵バッテリーの充電量が低下した場合、アナウンスでお知らせします。

アナウンス	機能	内蔵バッテリー状態
ジャン バッテリーチェック GPS 機能を停止します	GPS 受信機能を停止	充電 40%以下
ジャン バッテリーチェック 充電を行ってください	全受信機能を停止	充電 20%以下

待機画面の表示内容を選ぶ

・待機画面の表示を【サイバー 1】【サイバー 2】の 2 種類から選択することができます。また、待機画面の表示内容をタッチすることにより変更することができます。
・お買い上げ時は、【サイバー 1】に設定されています。

設定方法

1. 待機画面の上部をタッチしてメニュー画面を表示させる
2. 【設定】をタッチする
3. 【機能設定】をタッチする
4. 【▲】【▼】をタッチして［待機画面表示設定］を表示させる
5. 【サイバー 1】【サイバー 2】を選択する

アドバイス

・標高表示は、衛星の位置等に大きく影響され、停車中でも衛星の移動等で表示が変わる場合があります。
・カレンダー表示、時計表示は GPS データを利用するため、日付・時刻の設定はありません。
・コンパス表示、スピード表示は時速 10km 以下の場合、正確な表示がされない場合があります。
・スピード表示は GPS データによって算出しています。車両のスピードメーターと本製品の表示速度が異なる場合があります。
・車両電圧の表示電圧と実際の車両バッテリー電圧とは若干の誤差があるため、表示電圧はあくまでも参考程度とお考えください。

便利な機能

《サイバー 1》

エリア	表示項目	表示切替え
A	カレンダー表示	カレンダー表示固定
B	スピード表示	画面下部をタッチして表示を切替え
	進行方向表示	
	運転時間表示	
	標高表示	
	車両電圧表示	
	GPS 受信数表示	
	ドライブ info 表示※	
	自宅アシスト表示※	
	目的地アシスト表示※	
C	各種設定アイコン	各種アイコン表示固定

※ドライブ info、自宅・目的地アシスト表示は全画面が切替わります。

B エリア表示例

スピード	進行方向	運転時間
標高	車両電圧	GPS 受信数表示
ドライブ info（⇒ P36）	自宅アシスト (⇒ P34,35)	目的地アシスト(⇒P34,35)

《サイバー 2》

エリア	表示項目	表示切替え
A	カレンダー表示	カレンダー表示固定
B	スピード表示	スピード表示固定
C	進行方向表示	画面下部をタッチして表示を切替え
	運転時間表示	
	標高表示	
	車両電圧表示	
	GPS 受信数表示	
	ドライブ info 表示※	
	自宅アシスト表示※	
	目的地アシスト表示※	
D	各種設定アイコン	各種アイコン表示固定

※ドライブ info、自宅・目的地アシスト表示は全画面が切替わります。

C エリア表示例

画面上側が自車の進行方向になり、針は常に北を指しています。

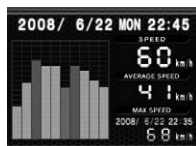
進行方向の方角を表示します。

進行方向

運転時間

標高

車両電圧

GPS 受信数表示

ドライブ info（⇒ P36）

自宅アシスト（⇒ P34,35）

目的地アシスト(⇒P34,35)

便利な機能

ユーザーポイントを追加する

未登録、または新たに設置されたオービスポイントを任意に 100 件まで追加で登録することができます。

⚠ 注意

運転者は、走行中に本製品を絶対に操作しないでください。必ず同乗者が操作を行ってください。

追加方法

登録したい地点を走行し、GPS 警報をしていないときに

1. 待機画面の上部をタッチしてメニュー画面を表示させる

2. 【ユーザーポイント】をタッチする

・「チャラーン　ユーザーポイント登録しました」のアナウンスと画面表示がされ、ユーザーポイントが登録されます。

走行エリアを「シティーモード」または「オールモード」選択時に、ユーザーポイントを追加すると「一般道路上」に登録され、「ハイウェイモード」選択時に追加すると「高速道路上」に登録されます。

アドバイス

ユーザーポイント解除方法

登録したユーザーポイントの警報中、画面をタッチして、【ユーザーポイント解除】をタッチすると「チャラーン ユーザーポイント解除しました」のアナウンスおよび画面表示がされ、登録が解除されます。

ユーザーポイントの追加登録ができない場合

・GPS 衛星が受信できないと「ピッピッピッピ 衛星をサーチ中です」とアナウンスが流れます。
・一度登録した場所（登録場所から半径約 200m）に再度、登録しようとした場合、「ジャン 登録できません」のアナウンスおよび画面表示を行います。
・ユーザーポイントを 100 件以上登録した場合、「ジャン メモリーフルです」のアナウンスおよび画面表示を行います。

警報をキャンセルする

警報を一時的にキャンセルしたり、不要な警報をキャンセルポイントとして登録することで誤警報を低減し、警報の信頼度を高めることができます。

⚠ 注意
運転者は、走行中に本製品を絶対に操作しないでください。必ず同乗者が操作を行ってください。

一時的にキャンセルする（ミュート）

1. 各種警報中に画面をタッチする

2. 警報音がミュート（消音）され、［ミュート設定画面］が表示される

3. 【戻る】をタッチするか、操作を行わずに 3 秒経過すると警報画面に戻り、ミュートアイコンが表示されます。

ミュートアイコン

・ミュートアイコンが表示されている間は、警報しません。
・ミュート中に画面をタッチし、【ミュートキャンセル】をタッチするとミュート状態は解除されます。
・誤警報の登録地点（⇒ P28）、オービスポイントのキャンセル地点（⇒ P29）、ASC 機能および LSC 機能作動中にもミュートアイコンが表示されます。

便利な機能

誤警報地点を登録する

・自動ドア等、レーダー波を受信してしまう場所をキャンセルポイントとして登録することで、半径約 200m 内のレーダー警報を消音します。
・最大登録件数は、50 件です。

⚠ 注意
運転者は、走行中に本製品を絶対に操作しないでください。必ず同乗者が操作を行ってください。

1. レーダー警報中に画面をタッチする

2. ミュート設定画面の【ポイント登録】をタッチする

・「チャラーン　レーダーキャンセルポイント登録しました」のアナウンスと画面表示がされ、レーダーキャンセルポイントが登録されます。

アドバイス

レーダーキャンセルポイント解除方法

登録地点を走行中 (ミュートマーク表示中)、画面をタッチして、【解除】をタッチすると「チャラーン レーダーキャンセルポイント解除しました」のアナウンスおよび画面表示がされ、登録が解除されます。

登録ができない場合

・レーダー（ステルス含む）受信中でも GPS 衛星が受信できないと「ピッピッピッピ 衛星をサーチ中です」のアナウンスおよび画面表示を行います。
・一度登録した場所（登録場所から半径約 200m）に再度、登録しようとした場合、「ジャン 登録できません」とアナウンスと画面表示を行います。
・レーダーキャンセルポイントを 50 件以上登録した場合、「ジャン メモリーフルです」のアナウンスおよび画面表示を行います。

オービスポイントをキャンセル登録する

・お買い上げ時から登録してあるオービスポイントやNシステムでGPSデータに登録されているオービスポイントをキャンセルポイントとして登録することで、該当ポイントの警報を1地点単位で消音します。
・最大登録件数は、30件です。

⚠ 注意

運転者は、走行中に本製品を絶対に操作しないでください。必ず同乗者が操作を行ってください。

1. オービス警報中に画面をタッチする

2. ミュート設定画面の【ポイント登録】をタッチする

・「チャラーン　警報キャンセルポイント登録しました」のアナウンスと画面表示がされ、ポイントが登録されます。

※ ソーラーモード（⇒P10、P16）で内蔵バッテリー作動時は、登録スイッチを押してからアナウンスされるまで3～5秒程の時間差があります。

アドバイス

警報キャンセルポイント解除方法

登録地点を走行中(ミュートマーク表示中)、画面をタッチして、【解除】をタッチすると「チャラーン 警報キャンセルポイント解除しました」のアナウンスおよび画面表示がされ、登録が解除されます。

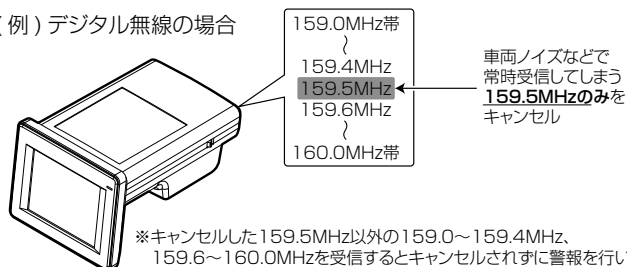
登録ができない場合

・GPS衛星が受信できないと「ピッピッピッピ 衛星をサーチ中です」のアナウンスおよび画面表示を行います。
・一度登録したポイントに再度、登録しようとした場合、「ジャン 登録できません」のアナウンスおよび画面表示を行います。
・警報キャンセルポイントを30件以上登録した場合は、「ジャン メモリーフルです」のアナウンスおよび画面表示を行います。

便利な機能

無線警報をキャンセル登録する

車両ノイズや一部地域など一定周波数のみを受信したままの状態が続く場合に、対象の周波数を登録し、受信対象から外すことができます。

※ カーロケ・350.1MHz 無線・警備無線は設定 (登録) できません。

・マニュアルモード（⇒ P46、47）で OFF に設定した警報は、キャンセル登録に関係なく警報しません。

1. 無線警報中に画面をタッチする

2. ミュート設定画面の【パスメモリ登録】をタッチする

・「チャラーン　パスメモリを登録しました」のアナウンスと画面表示がされ、ポイントが登録されます。

アドバイス

無線キャンセル登録 / 解除方法

レーダー本体をリセットすると登録を解除することができます。ただし、その他の設定した内容もすべてお買い上げ時の状態になります。（⇒ P89）

マップコード /QR コードを表示する

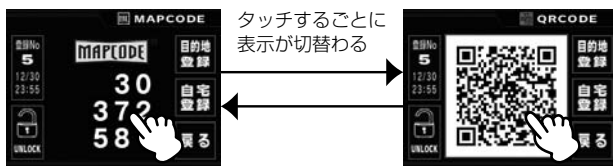
現在地のマップコード /QR コードを表示する

1. 待機画面の上部をタッチしてメニュー画面を表示させる

2. 【MAP/QR】をタッチする

3. 【現在地表示】をタッチする

4. 現在地のマップコードが表示される

5. 表示画面をタッチするごとにQRコード⇔マップコードと表示が切替ります。

アドバイス

・マップコードに対応したカーナビ、WEBサイトやアプリケーションを使用すれば、携帯電話やインターネットを使って場所の特定が簡単にできます。詳しくはP91を参照ください。

・表示されたQRコードを携帯電話で読取ることで、その地点（現在地や入力したマップコードの地点）の地図を携帯電話で表示することができます。詳しくはP92を参照ください。

⚠ 注意

- 自動で待機画面には戻りません。待機画面に戻すには、【戻る】をタッチし、表示を切替えてください。
- 場所を移動しても自動で表示は更新されません。
- 運転者は、走行中に本製品を絶対に操作しないでください。必ず同乗者が操作を行ってください。
- マップコード /QR コード表示中は警報を行いません。
- GPS の受信状況や､マップコードでの場所の特定が約 30m 四方（標準マップコード）までのため、GPS の測位誤差を含めて 30 ～ 100m 程マップコードを表示させた地点と地図上との誤差がでることがあります。予めご了承ください。
- マップコードは場所により桁数の違いがあります。本製品は最大 10 桁（標準マップコード）まで表示します。
- QR コード作成中（約 3 秒間）は、一切の操作および警報を行いません。

マップコード /QR コードを保存する

マップコード / ＱＲコードは新しく表示すると、古いものから順に上書きされていきます｡残しておきたいマップコード/ＱＲコードがある場合は､保存(ロック）してください。

1. マップコード / ＱＲコード表示中にカギマークをタッチする
2. タッチするごとに LOCK/UNLOCK が切替わります。

アドバイス

マップコード / ＱＲコードは最大 4 件までロックできます。ロックしたマップコード /QR コードやマップコード /QR コードの履歴は、ドライブアシストの設定で確認できます。(⇒ P63)

※ すでに 4 件ロックされている場合はロック不可マークが表示されます。

不可

マップコードを入力する

1. 待機画面の上部をタッチしてメニュー画面を表示させる
2. 【MAP/QR】をタッチする
3. 【MAPCODE 入力】をタッチする

4. [マップコード入力画面] が表示されるので、数字をタッチして目的のマップコードを入力し、【表示】をタッチする

5. 入力したマップコードが表示されます

6. 表示画面をタッチするごとに QR コード⇔マップコードと表示が切替ります。

⚠ 注意

存在しないマップコードを入力した場合、下記エラー画面が表示されます。その後自動で [マップコード入力画面] に表示が切替わります。

便利な機能

ドライブアシスト機能

マップコード /QR コード表示画面から『目的地登録』『自宅登録』を行うことで、登録した地点までの直線距離や自車位置からの方向等を待機画面に表示することができます。

（例）目的地を登録した場合

1. [マップコード表示画面][QR コード表示画面] で【目的地登録】または【自宅登録】をタッチする

2. [登録画面] が表示された後、【戻る】をタッチし、待機画面まで戻る

3. 待機画面の下部をタッチして、待機画面を自宅アシストまたは目的地アシスト画面に変更する（⇒ P23 ～ 25）

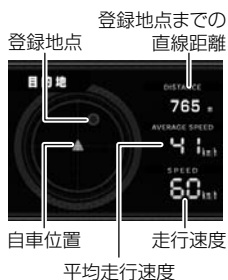
4. 登録した目的地までの直線距離や方角が画面に表示されます。

登録地点までの直線距離

登録地点

自車位置

走行速度

平均走行速度

⚠ 注意
お買い上げ時は目的地登録地点、自宅登録地点ともに『647 343（東京駅）』に設定されています。

表示される円は登録地点までの残距離により、自動で 3 段階に拡大・縮小表示されます。

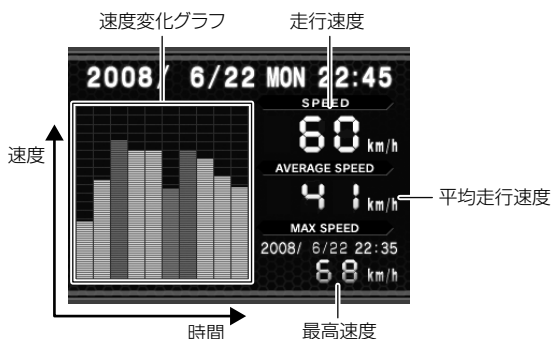
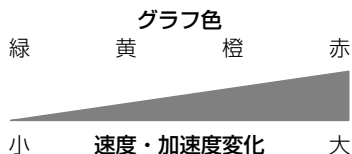
登録地点までの距離	表示される円の半径	登録地点の表示場所
11km 以上	半径 100km の円	残距離が 100km 以上 ・円の外周に地点を表示 残距離が 11km 以上〜 100km 以内 ・円の内周に地点を表示
2km 以上〜 11km 未満	半径 10km の円	残距離が 10km 以上〜 11km 以内 ・円の外周に地点を表示 残距離が 2km 以上〜 10km 以内 ・円の内周に地点を表示
2km 未満	半径 1km の円	残距離が 1km 以上〜 2km 以内 ・円の外周に地点を表示 残距離が 1km 以内 ・円の内周に地点を表示

アドバイス

・自車位置の表示はヘディングアップ（車の進行方向が常に上側）固定です。変更することはできません。
・平均走行速度表示は電源を入れなおすたびにリセットされます。

ドライブ info 機能

GPS のデータから走行速度・平均走行速度・最高速度を表示し、1 秒間隔ごとの速度をグラフで表示します。

1. 待機画面の下部をタッチして、待機画面をドライブ info 画面に変更する（⇒ P23 ～ 25）
2. 走行時の情報が画面に表示されます。

◇グラフの色は速度変化の大きさを表わしています。

アドバイス

- 平均速度表示は電源を入れなおすたびにリセットされます。
- 最高速度はデータリセットを行わない限りクリアされません。
- グラフの色をグリーンやイエローに揃えるように走行する（急な加速・減速を行わない）ことで、安全運転の目安になります。

GPS データを更新する

- 本製品の GPS データ（GPS ポイントデータ／マップデータ）は、最新バージョンへの更新が可能です。
- 今現在でも新たにオービス・N システムが増設されており、また調査箇所以外にもオービス・N システムが設置されている可能性があります。お車を運転するときは安全の為、必ず法定速度内で走行してください。

最新データをダウンロードする

・インターネットが利用できる環境のパソコンからコムテックホームページ (http://www.e-comtec.co.jp) へアクセスして最新バージョンの GPS データを microSD カードにダウンロードしてください。

※ ダウンロードのサイトは、予告なく変更、中止される場合があります。

（ダウンロードに必要なもの）

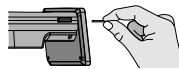
≪対応 OS ≫

・Microsoft Windows 2000
・Microsoft Windows XP
・Microsoft Windows Vista

※ 64bit 版は除きます。

≪記録媒体≫

・市販のフォーマット済み microSD カード (容量：128MB 以上 2GB 以下)
・市販の microSD カード対応リーダーライター

※microSDカードは別売になります。

アドバイス

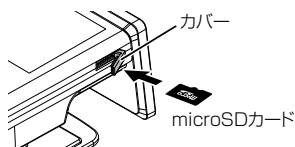
上記のダウンロードできる環境をお持ちでないお客様は、本製品を直接コムテックサービス部までお送りください。(有料)

〒 470-0206
住所　愛知県西加茂郡三好町莇生下石田 60 番
電話　0561-36-5654
株式会社　コムテック　サービス部　データ更新係　迄

レーダー本体をアップデートする

最新の GPS データをダウンロードした microSD カードをレーダー本体に読み込ませることで、GPS データを更新することができます。

1. microSD カードスロットのカバーを開けて、microSD カードを「カチッ」と音が鳴るまで差し込む

必ずレーダー本体の電源が OFF になっていることを確認してください。

2. シガープラグコードを接続 (⇒ P9) して、レーダー本体の電源を入れる

3. 待機画面の上部をタッチしてメニュー画面を表示させる

4.【設定】をタッチする

5.【SD カード】をタッチする

・［GPS データ更新画面］が表示されます。

6.【実行】をタッチして、アップデートを開始する

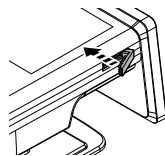
・【キャンセル】を押すとメニュー画面に戻ります。
・GPS ポイント→マップデータの順で、自動的にアップデートします。アップデートにかかる時間は、約 15 分です。
・アップデートに失敗すると、エラーメッセージが表示されます。(⇒ P39)

GPSデータ更新画面

本体に登録されている GPSデータの配布日

7. アップデート終了後、レーダー本体の電源を切る

8. microSD カードを取外し、microSD カードスロットのカバーを閉める

microSD カードを軽く押し込み、少し飛び出てきたらゆっくりとまっすぐ引き抜いてください。

9. レーダー本体の電源を入れ直す

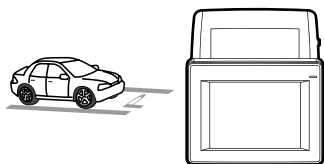
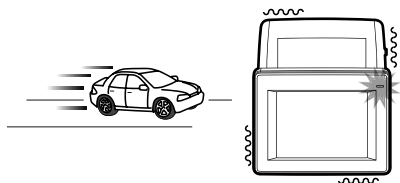
≪エラーメッセージ一覧≫

表示画面	エラー	対処方法
SD CARD ERROR データの更新に失敗しました。 レーダーの電源をOFFにし、再起動後 もう一度データ更新を行ってください。	アップデートに失敗するとエラーメッセージが表示され、正常にアップデートされるまで本製品は再起動後も microSD カードメニューから切替りません。	もう一度、アップデートを行ってください。
SD CARD ERROR GPSデータの異常を検出しました。 データ更新を行ってください。	電源起動時もしくは再起動時に GPS データが異常とエラーメッセージが表示された場合、本製品は microSD カードメニューから切替りません。	GPS データのアップデートを行ってください。
SD CARD ERROR 有効なGPSデータが存在しません。	「有効な GPS データが存在しません。」のエラーメッセージが表示される。	もう一度、パソコンから GPS データを microSD カードにダウンロードしてください。
SD CARD ERROR SDカードが挿入されていません。	「microSD カードが挿入されていません。」のエラーメッセージが表示される。	もう一度、microSD カードの挿入を確認してください。

⚠ 注意

- **microSD カードを取付けたり取外す場合は、必ずレーダー本体の電源を OFF にしてください。**
- **microSD カードを無理に取付けたり、取外したりすると、microSD カードやレーダー本体が破損することがあります。**
- **microSD カード以外のものを挿入しないでください。microSD カードやレーダー本体が破損することがあります。**
- **アップデート中は、microSD カードを抜いたり、電源スイッチを切ったりしないでください。microSD カード、レーダー本体が破損するおそれがあります。**
  ただし、アップデートが始まらなかったり、途中で止まってしまった場合は再起動を行い、再度アップデートを行ってください。
- **レーダー本体と micro ＳＤカードの相性によりレーダー本体のアップデートが出来ない場合があります。**

振動センサーの感度を調節する

- ソーラーバッテリーで使用する場合、レーダー本体は停止時など車両の振動が無い状態が数分続くと自動的に電源が切れ（オートパワー OFF 機能）、エンジン始動や走行振動を検出すると自動的に電源が入ります。

振動がなくなると自動的に電源が切れ、電源/振動ランプが消灯します。

レーダー本体が振動を検出すると自動的に電源が入り、電源/振動ランプが点滅します。

設定方法

1. 待機画面の上部をタッチしてメニュー画面を表示させる
2. 【設定】をタッチする
3. 【機能設定】をタッチする
4. 【▲】【▼】をタッチして［LSC-V 感度設定］を表示させる
5. 【LOW】【MID】【HI】を選択する

LSC-V 感度設定	振動検出感度	車両タイプ（参考）
LOW	低	ディーゼル（振動の大きい車両）
MID	中	ガソリン／ディーゼル
HI	高	ガソリン（振動の小さい車両）

⚠ 注意

車両振動が極端に大きい車や、駐停車時、走行時の振動差が極端に小さい車は、振動センサーが正常に作動しないことがあります。また、本製品の取付け位置によって、振動の検出度合いが変わることもあります。

アドバイス

・振動や騒音の激しい場所に駐停車する場合に、レーダー本体が振動を検知して電源が切れない場合があります。その場合は､電源スイッチで電源を切ってください。
・車種によっては走行中でも振動が検出できない場合があります。

おまかせカンタン設定

GPS 警報および無線警報を 3 つのモードから一括で簡単に設定できる機能です。

- お買い上げ時は、【マニュアル】で、各設定の内容はオールオンモードと同様です。

設定方法

1. 待機画面の上部をタッチしてメニュー画面を表示させる
2. 【設定】をタッチする
3. 【おまかせ設定】をタッチする
   ・［おまかせ設定画面］が表示されます。
4. 【おまかせ】【オールオン】【マニュアル】を選択する

設定内容一覧

<table>
<tr><th></th><th>機　　能</th><th>おまかせモード</th><th>オールオンモード</th><th>マニュアルモード</th></tr>
<tr><td rowspan="15">無線設定</td><td>カーロケ</td><td rowspan="4">HI</td><td rowspan="14">HI</td><td rowspan="31">P46、47の設定になります。オールリセット、お買い上げ時の内容はオールオンモードの内容になります。</td></tr>
<tr><td>350.1MHz</td></tr>
<tr><td>デジタル</td></tr>
<tr><td>取締特小</td></tr>
<tr><td>署活系</td><td rowspan="10">OFF</td></tr>
<tr><td>ワイド</td></tr>
<tr><td>警察 / 消防ヘリテレ</td></tr>
<tr><td>レッカー</td></tr>
<tr><td>新救急</td></tr>
<tr><td>消防</td></tr>
<tr><td>高速管理車両</td></tr>
<tr><td>警察活動</td></tr>
<tr><td>警備</td></tr>
<tr><td>タクシー</td></tr>
<tr><td>パトロールエリア設定</td><td>ON</td><td>ON</td></tr>
<tr><td rowspan="15">GPS設定</td><td>W オービス</td><td>距離：OFF
速度：OFF</td><td>距離：500m
速度：60km/h</td></tr>
<tr><td>チェックポイント</td><td rowspan="3">ON</td><td rowspan="14">ON</td></tr>
<tr><td>警戒ポイント</td></tr>
<tr><td>駐車監視エリア</td></tr>
<tr><td>信号無視監視ポイント</td><td rowspan="11">OFF</td></tr>
<tr><td>ポリスエリア</td></tr>
<tr><td>事故ポイント</td></tr>
<tr><td>SA/PA/HO</td></tr>
<tr><td>N システム</td></tr>
<tr><td>道の駅ポイント</td></tr>
<tr><td>急カーブポイント</td></tr>
<tr><td>トンネルポイント</td></tr>
<tr><td>県境ポイント</td></tr>
<tr><td>分岐合流ポイント</td></tr>
<tr><td>セーフモード</td></tr>
<tr><td colspan="2">ロードセレクト</td><td>ALL</td><td>ALL</td></tr>
</table>

アドバイス

- おまかせモード、オールオンモードの設定中は GPS 設定および無線設定の設定を変更することはできません。
- ソーラーバッテリーの場合、オールオンモードを設定しても作動しない機能（⇒ P10）があります。
- 全てのモードでロードセレクトの変更はできます。
- セーフモードの設定を『ALL-ON』に設定している場合、セーフティウィーク期間中はオールオンモードになります。（⇒ P73）

走行エリアを選ぶ

高速道路上の登録ポイントのみ警報を行う「ハイウェイモード」、一般道路上の登録ポイントのみ警報を行う「シティーモード」、高速、一般道路両方のすべての登録ポイントの警報を行う「オールモード」を選択します。

設定方法

1. 待機画面の上部をタッチしてメニュー画面を表示させる
2. 【設定】をタッチする
3. 【機能設定】をタッチする
4. 【▲】【▼】をタッチして［ロードセレクト］を表示させる

5. 【CTY】【HWY】【ALL】を選択する

・下記表を参照し、走行条件に合わせた走行エリアの設定をしてください。

走行エリア	表示アイコン	警報を行う道路	モード確認アナウンスする速度の目安
オールモード	ALL	一般道路／高速道路	−
シティーモード	CITY	一般道路のみ	80km/h 以上
ハイウェイモード	HWY	高速道路のみ	5km/h 以下

※ シティーモード設定中、走行速度が 80km/h を超えたり、ハイウェイモード設定中、車が停車状態になると、シガープラグ電源使用時のみ「モード確認をしてください」とアナウンスします。

設定操作

マニュアルモード選択時（⇒ P42）に全ての機能をそれぞれ設定することができます。おまかせ / オールオンモードでは、GPS 機能および無線警報の設定はできません。（エラー画面が表示されます。）
※ 何も画面をタッチしないと約 30 秒後、自動的に待機画面に戻ります。

設定方法

例：W オービスの距離設定を【1km】に設定変更するには・・・

1. 待機画面の上部をタッチしてメニュー画面を表示させる

2.【設定】をタッチする

・ 設定メニュー画面が表示されます。

3.【GPS 設定】をタッチする

4.【▲】【▼】をタッチして［W オービス距離設定］を表示させる

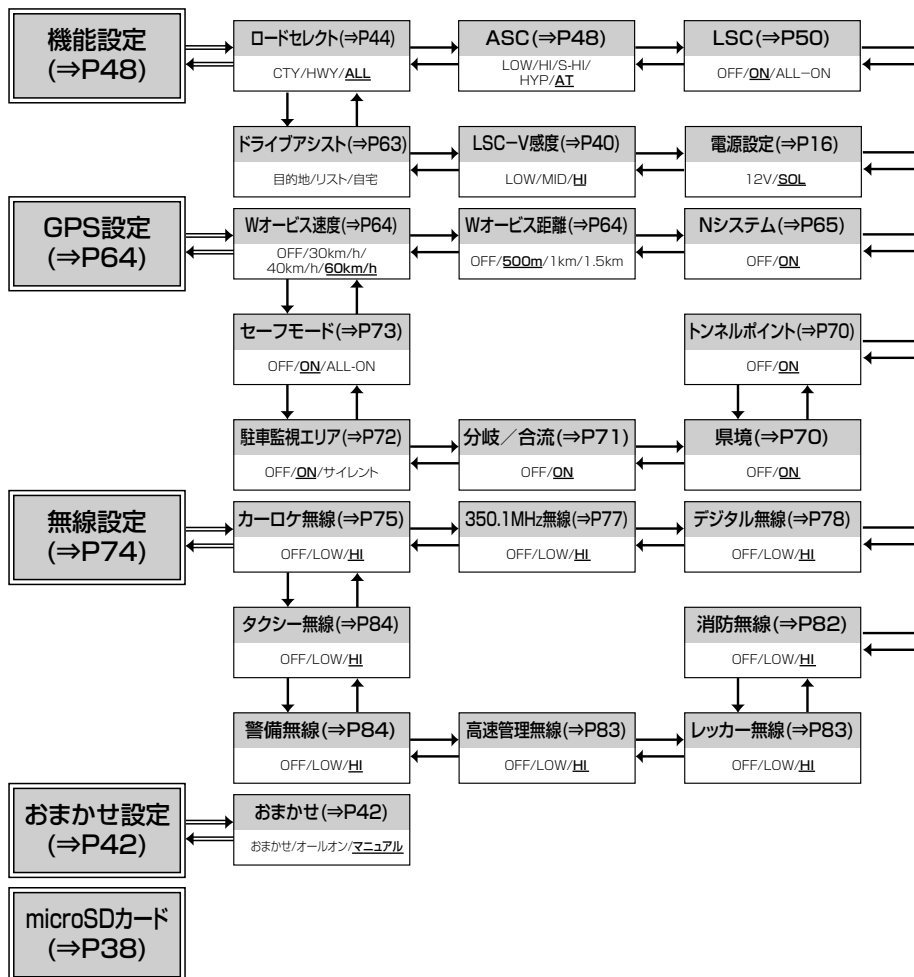
5.【1km】を選択する

・ 現在の設定表示、内容が選択した状態に変更されていれば設定完了です。
・ 続けて別項目を設定することもできます。

アドバイス

【戻る】をタッチすると設定メニュー画面に戻ります。

設定メニュー

設定内容一覧

※ おまかせ／オールオンモードでは、GPS 設定および無線設定の変更はできません。
※ **太字**は初期設定になります。

エフェクト(⇒P52)
OFF/EF1/EF2
アラーム(⇒P54)
BZ1/BZ2/BZ3
ML1/ML2
待機画面表示(⇒P23)
サイバー1/サイバー2
バックライト昼(⇒P20)
1/2/3/4
オープニング音(⇒P62)
OFF/ON
タッチ音(⇒P21)
OFF/ON
オービス表示(⇒P55)
STD/LOC/NAV
バックライト夜(⇒P20)
1/2/3/4
チェックポイント(⇒P66)
OFF/ON
信号無視監視ポイント(⇒P66)
OFF/ON
警戒ポイント(⇒P67)
OFF/ON
ポリスエリア(⇒P67)
OFF/ON
急カーブ(⇒P69)
OFF/ON
道の駅(⇒P69)
OFF/ON
SA/PA/HO(⇒P68)
OFF/ON
事故ポイント(⇒P68)
OFF/ON

署活系無線(⇒P79)
OFF/LOW/HI
ワイド無線(⇒P79)
OFF/LOW/HI
取締特小無線(⇒P80)
OFF/LOW/HI
警察活動無線(⇒P80)
OFF/LOW/HI
消防ヘリテレ無線(⇒P81)
OFF/LOW/HI
新救急無線(⇒P82)
OFF/LOW/HI
パトロールエリア(⇒P81)
OFF/ON
警察ヘリテレ無線(⇒P81)
OFF/LOW/HI

機能設定

ASC 機能

設定 ⇒ **機能設定** ⇒【▲▼】⇒ **ASC 設定**

（設定一覧は P46,47 参照）

・ASC 機能とは、オート・センシティブ・コントロールの略称で、走行する速度または車両振動によってレーダーの受信感度を自動的に調節する機能です。

・お買い上げ時は、【AUTO】に設定されています。【LOW】【HI】【S-HI】【HYPER】の 4 段階にマニュアル設定をすることで、走行場所や走行状態によってレーダーの受信感度を固定することもできます。

AUTO 設定

・低速走行中（渋滞など）は受信感度を下げて警報を鳴りにくくし、高速走行中はレーダーの受信感度を上げて警報しやすくします。

車両状態	信号待ち、低速走行時など	走行中
受信感度	LOW	車速に応じて LOW ⇔ HI ⇔ S-HI ⇔ HYPER と受信感度が変化

・シガープラグ電源とソーラーバッテリーで走行速度の検出方法が異なります。

電源	機能	内容	走行速度	受信感度
シガープラグ電源	ASC-i 機能 （オート・センシティブ・コントロール・インテリジェンス）	GPS 機能を使用※して算出した自車の走行速度に合わせて設定	30km/h 未満	LOW
			30km/h ～ 60km/h 未満	HI
			60km/h ～ 80km/h 未満	S-HI
			80km/h 以上	HYPER
ソーラーバッテリー	ASC-V 機能 （オート・センシティブ・コントロール・バイブレーション）	走行中の速度変化による車両振動を検出して設定		

※ GPS 衛星を受信できない場合は、受信感度が【HYPER】に固定されます。

マニュアル設定

最適な受信感度を設定してください。

受信感度	適切な走行場所	走行状態	表示アイコン
LOW	市街地	低速走行	
HI	郊外地	中速走行	
S-HI	郊外地・高速道路	中・高速走行	
HYPER	高速道路	高速走行	

LSC 機能

設定 ⇒ 機能設定 ⇒【▲▼】⇒ LSC 設定

(設定一覧は P46,47 参照)

・LSC 機能とは、ロー・スピード・キャンセルの略称で、渋滞など車が低速走行時は、警報音を自動的にカットする機能です。

・お買い上げ時は、【ON】に設定されています。【OFF】または【ALL-ON】の 3 設定から選択することができます。

- 【ON】...............低速走行時に GPS 警報、レーダー警報の警報音をカット
- 【ALL-ON】......低速走行時に GPS 警報、レーダー警報、および無線警報の警報音をカット
- 【OFF】.............走行速度に関係なく警報音を鳴らす

・シガープラグ電源とソーラーバッテリーで動作内容が異なります。(⇒ P10)

電源	機能	動作内容
シガープラグ電源	LSC-i 機能 (ロー・スピード・キャンセル・インテリジェンス)	GPS 機能を使用して算出した自車の走行速度が 30km/h 以下の場合、警報音をカットする
ソーラーバッテリー	LSC-V 機能 (ロー・スピード・キャンセル・バイブレーション)	駐停車時と走行時の振動差を検出して警報音をカットする

⚠ 注意

車両振動が極端に大きな車や、駐停車時と走行時の振動差が小さい車は LSC 機能が正常に作動しないことがあります。レーダー本体の取付け位置によっても振動の検出度合いが変わることがあります。

LSC マークについて

LSC 機能の作動を 2 段階表示でディスプレイにて確認することができます。

状態	走行状態	アイコン表示	警報
LSC-V	停車中	LSC	しない
	走行中	LSC	する
LSC-i	停車中〜 30Km/h	LSC	しない
	30Km/h 以上	LSC	する
LSC 機能を OFF 又は衛星を受信していない時		LSC	する

設定項目

エフェクト（効果音）機能

設定 ⇒ **機能設定** ⇒【▲▼】⇒ **エフェクト設定**

（設定一覧は P46,47 参照）

音声アナウンス前後に用いる擬音効果です。下記の設定のように、各警報時の効果音と音声アナウンス警報の選択ができます。

<table>
<tr><th></th><th>項　目</th><th>OFF（初期設定）</th><th>エフェクト 1</th><th>エフェクト 2</th></tr>
<tr><td rowspan="15">GPS警報</td><td>オービス</td><td rowspan="15">効果音＋アナウンス</td><td rowspan="2">効果音＋アナウンス</td><td rowspan="2">効果音＋アナウンス</td></tr>
<tr><td>ダブルオービス</td></tr>
<tr><td>N システム</td><td rowspan="12">効果音のみ</td><td rowspan="12">アナウンスのみ</td></tr>
<tr><td>チェックポイント</td></tr>
<tr><td>信号無視ポイント</td></tr>
<tr><td>警戒ポイント</td></tr>
<tr><td>ポリスエリア</td></tr>
<tr><td>事故ポイント</td></tr>
<tr><td>SA/PA/HO</td></tr>
<tr><td>道の駅ポイント</td></tr>
<tr><td>急カーブポイント</td></tr>
<tr><td>トンネルポイント</td></tr>
<tr><td>分岐・合流ポイント</td></tr>
<tr><td>駐車監視エリア</td></tr>
<tr><td>県境ポイント</td><td>効果音＋アナウンス</td><td>効果音＋アナウンス</td></tr>
</table>

	項　目	OFF（初期設定）	エフェクト 1	エフェクト 2
無線警報	カーロケ無線	効果音＋アナウンス	効果音のみ	アナウンスのみ
	350.1 無線			
	デジタル無線			
	署活系無線			
	ワイド無線			
	取締特小無線			
	警察活動無線			
	警察ヘリテレ無線			
	パトロールエリア			
	新救急無線			
	消防ヘリテレ無線			
	消防無線			
	レッカー無線			
	高速管理車両無線			
	警備無線			
	タクシー無線			

アラーム機能

設定 ⇒ 機能設定 ⇒【▲▼】⇒ アラーム設定

（設定一覧は P46,47 参照）

・警報音を【ブザー 1】【ブザー 2】【ブザー 3】【メロディ 1】【メロディ 2】のいずれかで鳴らすことができます。

- 【BZ】................ブザー
- 【ML】...............メロディ

・お買い上げ時は､【ブザー 1】に設定されています。

設　定	内　容	表示アイコン
ブザー 1、2、3	警報音をブザーで鳴らします。	
メロディ 1	警報音をメロディ音［情熱大陸］で鳴らします。	
メロディ 2	警報音をメロディ音［ワルキューレの騎行］で鳴らします。	

オービス表示設定

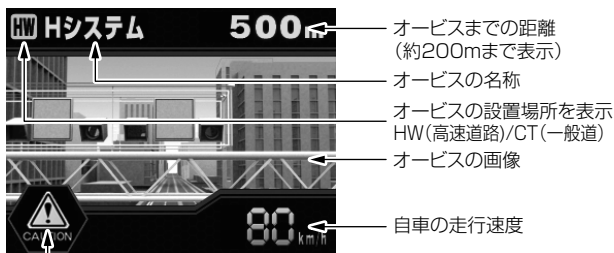
設定 ⇒ **機能設定** ⇒【▲▼】⇒ **オービス表示画面設定**

（設定一覧は P46,47 参照）

・オービスポイントに接近したときの警報画面を【スタンダード】【ロックオン】【ナビゲーションスコープ】の３種類から選択できます。
・対象オービスは、レーダー式、ループコイル、LH システム、H システムです。

- 【STD】............スタンダード表示
- 【LOC】............ロックオンオービス表示
- 【NAV】...........ナビゲーションスコープ表示

スタンダード表示について

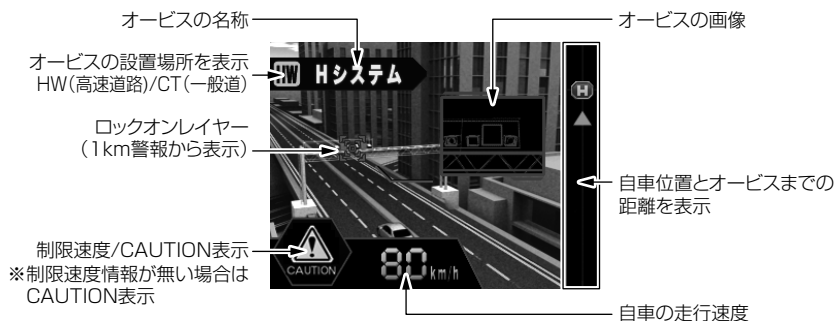
上空からの視点で対象オービスに向かって近づいていくイメージで警報表示し、わかりやすく表示します。

アドバイス

単発オービス警報
トンネル内やトンネル出口、高架下など GPS が受信出来ない場所にオービスが設置されている場合、その手前の GPS が受信可能な場所（トンネルに入る前等）で**一回のみ**オービス警報を行います。
※ ロックオンオービス表示 / ナビゲーションスコープ表示はできません。ロックオンオービス表示 / ナビゲーションスコープ設定時はスタンダード表示で警報を行います。

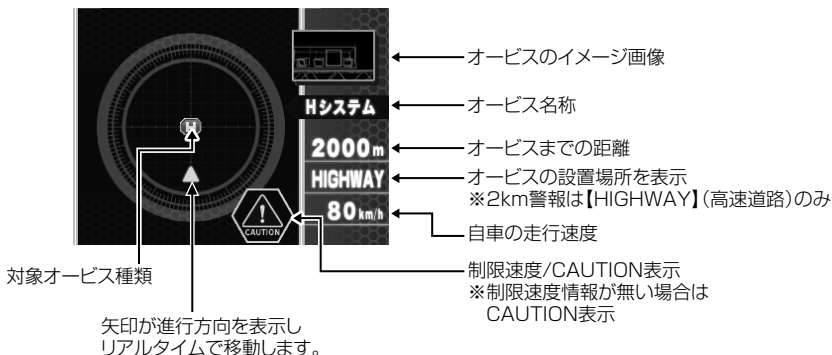
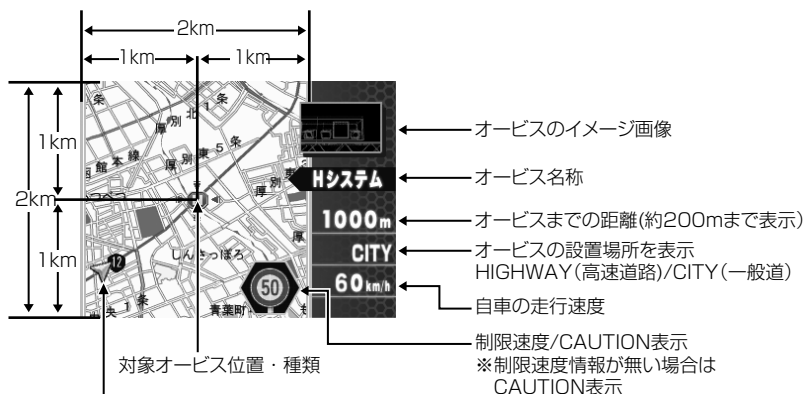
設定項目

ロックオンオービス表示について

道路の上方からのイメージで警報画面を表示し、ターゲットとなるオービスをロックオンレイヤーがロックオンして警報します。

※単発オービス警報は表示できません。

ナビゲーションスコープについて

・オービス（GPS）警報時に実際の地図を表示してオービスと自車位置を分かりやすく表示します。

≪オービスまでの距離が 2km ～ 1km の場合≫※高速道路のみ

≪オービスまでの距離が 1km 以内の場合≫

矢印が進行方向を表示し
リアルタイムで移動します。

・ナビゲーションスコープ表示中、対象オービス周辺に対象オービス以外の本体に登録されたオービスが存在する場合、下記の様なアイコン表示されます。

※対象オービスを通過して約10秒後に待機画面に戻ります。
※自車イラストが道から外れて表示されることがあります。
※場所によっては地図画像が粗く見える場合があります。

設定項目

≪オービス警報・ユーザー登録ポイント警報の音声アナウンス内容≫

オービス種類	音声アナウンス ※（　）内の言葉はオービス迄の直線距離、高速・一般道等によって変わります。	表示画面
ループコイル	約（※ 1）先（※ 2）ループコイル があります。 時速は約（※ 3）キロ。（※ 4）	ループコイル 500m 100 80
LH システム	約（※ 1）先（※ 2）LH システム があります。 時速は約（※ 3）キロ。（※ 4）	LHシステム 500m 100 80
H システム	約（※ 1）先（※ 2）H システム があります。 時速は約（※ 3）キロ。（※ 4）	Hシステム 500m 100 80
レーダー	約（※ 1）先（※ 2）レーダー があります。 時速は約（※ 3）キロ。（※ 4）	レーダー 500m 100 80
ユーザー登録 ポイント	約（※ 1）先（※ 2）ユーザーポイント があります。 時速は約（※ 3）キロ。（※ 4）	ユーザーポイント 500m 80

※ 1　2 キロ、1 キロ、500m いずれかをアナウンスします。2 キロは高速道路のみ

※ 2　『高速道 / 一般道』のどちらかをアナウンスします。また 500m の警報の場合カメラ位置の方向（正面・左側・右側）をアナウンスします。

※ 3　アナウンスを始めた時の速度を約 10km/h 単位（四捨五入）でアナウンスします。190km 以上は『190 キロ以上です』とアナウンスします。

※ 4　2 キロ、1 キロの警報の場合、制限速度または到達時間をアナウンスします。
- 制限速度データがあり、走行速度が制限速度を超えている場合、『制限速度は○○キロです』
- 制限速度データがない場合、または制限速度データがあり、走行速度が制限速度以内の場合、『到達時間は○○秒以内です』

⚠ 注意

- **※ 3 の速度はアナウンスした時の速度であり、ディスプレイ表示される速度は現在の走行速度のため、アナウンス速度と表示速度は異なる場合があります。**
- **※ 4 の到達時間はアナウンス開始時の速度と距離で算出されており、実際の到達時間とは異なる場合があります。あくまで目安とお考えください。**

≪トンネル出口警報・トンネル内オービス警報の音声アナウンス内容≫

オービス種類	音声アナウンス ※（　）内の言葉はオービスの種類、高速・一般道等によって変わります。	表示画面
トンネル出口 警報	（※ 1）トンネル出口（※ 2）があります。 時速は約（※ 3）キロ。	ループコイル 500m 80
トンネル内 オービス 警報	この先（※ 1）トンネル内（※ 2）があります。 時速は約（※ 3）キロ。	LHシステム 500m 80

※ 1　『高速道 / 一般道』のどちらかをアナウンスします。

※ 2　取締機の種類をアナウンスします。

※ 3　アナウンスを始めた時の速度を約 10km/h 単位（四捨五入）でアナウンスします。190km 以上は『190 キロ以上です』とアナウンスします。

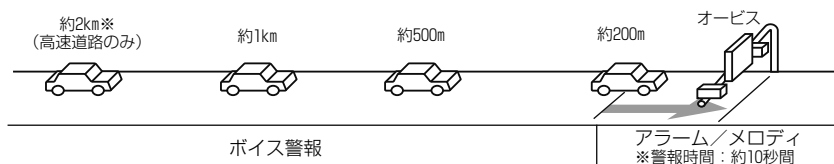
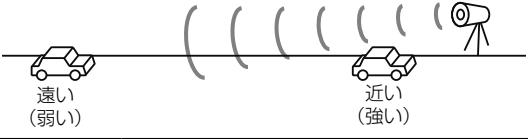
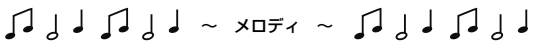
⚠ 注意

※ 3 の速度はアナウンスした時の速度であり、ディスプレイ表示される速度は現在の走行速度のため、アナウンス速度と表示速度は異なる場合があります。

設定項目

オービスポイントに接近した場合、下記のように警報を行います。

※ 対向車線上のオービスへの警報は行いません。

◇**警報を行う距離**（注）GPS 電波が受信できていない状態では、GPS 警報ができません。

※ 約 2km 地点での警報は、シガープラグコードを接続した状態でご使用の場合のみ行います。
警報を行う距離は、対象とするオービスからの直線距離です。道路の高低差、カーブの大きさ等によっては実際の走行距離と異なる場合があります。また、近くの平行する道路等を走行中の時も警報を行う場合があります。

■レーダー警報のしかた

レーダー式取締り機（⇒ P85）に接近した場合、下記のように警報を行います。

レーダー式取締り機迄の距離（電波の強さ）			遠い（弱い） → 近い（強い）
ディスプレイ表示			レーダー / LEVEL4 / SPEED / 60
レベルメーター			LEVEL1 ▶ LEVEL2 ▶ LEVEL3 ▶ LEVEL4
アラーム音	受信感度	LOW	アラーム音が鳴らない ※警報表示は行います。 / アラーム音が鳴る
		HI	
		S-HI	
		HYPER	
ステップアラームのタイミング メロディ 1、2 の場合は、テンポは変わりません			ピッピッ・・・ピッピッ・・・（スローテンポ・アラーム） ▶ ピッピッ・ピッピッ・ピッピッ（アップテンポ・アラーム） ～ メロディ ～
ステルス波受信（⇒ P85）	ディスプレイ表示		ステルス / LEVEL4 / SPEED / 60
	アラーム音		ピッピッピッ・・・アラーム音が鳴ります。 ※メロディ設定の場合はテンポは変わらず警報を行います。

※ レーダー警報中でも GPS 警報、無線警報（カーロケ、350.1MHz、デジタル、署活系、ワイド、警察 / 消防ヘリテレ、取締特小、レッカー、新救急、消防、高速管理車両、パトロールエリア、警察活動、警備、タクシー）を優先します。
※ 表示される速度は現在の走行している速度です。

オープニング音設定

メインメニュー ⇒ 機能設定 ⇒【▲▼】⇒ オープニング音設定

（設定一覧は P46,47 参照）

・オープニング効果音と、電源 ON/OFF 時のあいさつアナウンスを ON/OFF 設定することができます。
・オープニング効果音とあいさつアナウンスを個別に設定することはできません。
・電源 ON 時のあいさつアナウンスは起動時刻により切替わります。
・電源 OFF 時のあいさつアナウンスは起動時刻にかかわらず、『お疲れ様でした』とアナウンスします。
・お買い上げ時は、【ON】に設定されています。

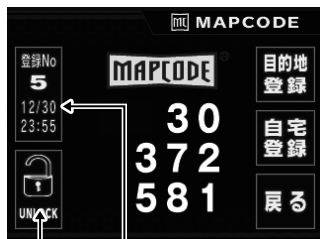
起動時刻	アナウンス内容
4：00 ～ 9:59	おはようございます
10:00 ～ 17:59	こんにちは
18:00 ～ 3:59	こんばんは

ドライブアシスト設定

メインメニュー ⇒ 機能設定 ⇒【▲▼】⇒ ドライブアシスト設定

（設定一覧は P46,47 参照）

・今まで表示したマップコード /QR コードや、『目的地』『自宅』登録したマップコード /QR コードを確認することができます。
・『目的地』や『自宅』地点を変更するときは『リスト』からマップコード /QR コードを表示し、【目的地登録】【自宅登録】をタッチしてください。
・リストはマップコード /QR コードを表示するたびに登録されていき、最大 5 件まで登録できます。
・マップコード /QR コードは、保存（ロック）されていない、古い物から順に上書きされていきます。残しておきたいマップコード /QR コードがある場合は、保存（ロック）を行ってください。(⇒ P32)

≪マップコード /QR コード表示画面≫

⚠ 注意

お買い上げ時は目的地登録地点、自宅登録地点ともに『647 343（東京駅）』に設定されています。

アドバイス

ドライブアシスト機能

マップコード /QR コード表示画面から、登録した地点までの直線距離や、自車位置からの方向等を待機画面に表示する機能です。詳しくは P34 を参照ください。

GPS 設定

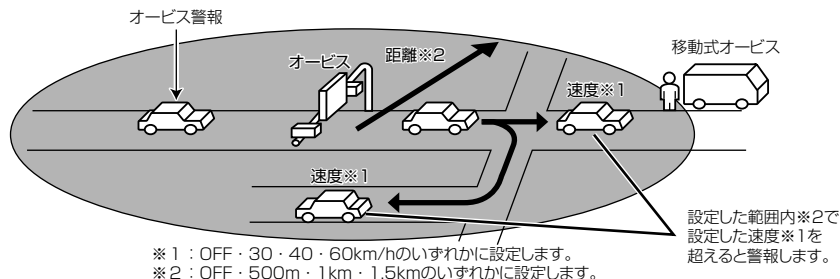
ダブルオービス警報（W オービス info）

設定 ⇒ GPS 設定 ⇒【▲▼】⇒ W オービス速度設定

設定 ⇒ GPS 設定 ⇒【▲▼】⇒ W オービス距離設定

（設定一覧は P46,47 参照）

・ダブルオービスとは、固定式オービスの先に移動式オービスを設置することで、固定式オービス通過後に速度を上げる車両をねらい撃ちする二重オービスの呼称です。
・W オービスを設定した場合は、一般道路上のオービスポイントを通過後、下図※ 2 で設定した距離の範囲内で、下図※ 1 で設定した速度以上で走行すると、警報アナウンスとディスプレイ表示で警告します。

※1：OFF・30・40・60km/hのいずれかに設定します。
※2：OFF・500m・1km・1.5kmのいずれかに設定します。

アナウンス	表示画面
効果音、この先ダブルオービスにご注意ください。	Wオービス：CITY 60

※ おまかせモード設定時は速度・距離とも OFF です。
※ お買い上げ時またはオールオンモード設定時は、速度が 60km/h・距離が 500m に設定されています。

⚠ 注意

- **設定した距離の範囲内で信号などにより停止（5km/h 以下）した場合、再度設定した走行速度を超えると 3 回まで警報します。**
- **オービス警報キャンセルポイントに設定されているオービスポイントでは、ダブルオービス警報もキャンセルされます。**
- **オービス通過後、設定範囲内であれば車両の進行方向にかかわらず、設定速度を超えればダブルオービスの警報を行います。**

N システム /NH システム警報（N/NH SYSTEM info）

設定 ⇒ GPS 設定 ⇒【▲▼】⇒ N システム設定

（設定一覧は P46,47 参照）

N システム /NH システムポイントに接近した場合、下記のように警報を行います。

※ 対向車線上の N システム／ NH システムへの警報は行いません。
※ GPS 電波が受信できていない状態では、GPS 警報ができません。

アナウンス	表示画面
効果音、この先（高速道／一般道）N システムがあります。	N システム：HIGH WAY 60

※ 本製品は、NH システムを N システムとして警報を行います。

⚠ 注意
警報を行う距離は、対象とする N システム／ NH システムからの直線距離です。道路の高低差、カーブの大きさ等によっては実際の走行距離と異なる場合があります。

設定項目

チェックポイント警報（トラップポイント info）

設定 ⇒ GPS 設定 ⇒【▲▼】⇒ チェックポイント設定

（設定一覧は P46,47 参照）

速度取締りを中心に頻繁に行われているエリアや、過去に取締りの事例があるエリアが予め本機に登録してあり、チェックポイントに接近すると約 500m ～ 1km の間で注意をお知らせし、離れれば回避をお知らせします。

アナウンス	表示画面
効果音、この先　一般道　チェックポイントがあります。	
効果音、チェックポイントを回避しました。	

※ ロードセレクト（⇒ P44）がオールモード、シティーモードの時のみ有効です。

信号無視監視ポイント警報（信号無視監視ポイント info）

設定 ⇒ GPS 設定 ⇒【▲▼】⇒ 信号無視監視ポイント設定

・信号無視監視ポイントとは「信号無視監視機」の呼称で、この路線で信号を無視して走行した違反車両の様子が撮影・記録されます。
・本機に登録されている信号無視監視ポイントに接近すると約 500m ～ 1km の間で注意をお知らせします。

アナウンス	表示画面
効果音、この先　信号無視取締り機にご注意ください。	

※ ロードセレクト（⇒ P44）がオールモード、シティーモードの時のみ有効です。

警戒ポイント警報（警戒ポイント info）

設定 ⇒ GPS 設定 ⇒【▲▼】⇒ 警戒ポイント設定

（設定一覧は P46,47 参照）

本機に登録されている白バイ監視路線ポイントに接近（約 300m）するとお知らせします。

アナウンス	表示画面
効果音、この先　警戒ポイントです。	
効果音、この先　重点警戒ポイントです。	

アドバイス

・重点警戒ポイントは警戒ポイント警報を行ったあと、一定の無線を受信した際に警報を行います。
・重点警戒ポイントは LSC 機能が【ON】設定の場合でも、警報音がカットされず、警報を行います。
　※ 警戒ポイントは警報音がカットされます。
　※ LSC 機能が【ALL ON】設定の場合、警戒ポイント、重点警戒ポイントともに警報音がカットされます。

ポリスエリア警報（ポリスロケート info）

設定 ⇒ GPS 設定 ⇒【▲▼】⇒ ポリスエリア設定

本機に登録されている警察署付近に接近（約 300m）するとお知らせします。

アナウンス	表示画面
効果音、この先　一般道　ポリスエリアがあります。	

※ ロードセレクト（⇒ P44）がオールモード、シティーモードの時のみ有効です。

設定項目

事故ポイント警報（事故ポイント info）

設定 ⇒ GPS 設定 ⇒【▲▼】⇒ 事故ポイント設定

（設定一覧は P46,47 参照）

全国の事故多発ポイントを予め本機に登録してあり、事故多発ポイントに接近（約 300m）するとお知らせします。

アナウンス	表示画面
効果音、この先　事故多発ポイントがあります。	事故多発ポイント：HIGH WAY

SA/PA/HO 警報（SA/PA/HO info）

設定 ⇒ GPS 設定 ⇒【▲▼】⇒ SA/PA/HO 設定

（設定一覧は P46,47 参照）

全国の高速道路にあるサービスエリア、パーキングエリアやハイウェイオアシスの位置情報を予め本機に登録してあり、サービスエリア又はパーキングエリアに接近すると、2km 手前でお知らせします。

状況	アナウンス	表示画面
パーキングエリア	効果音、この先、高速道（※） パーキングエリアがあります。	パーキングエリア：HIGH WAY PARKING AREA
サービスエリア	効果音、この先、高速道（※） サービスエリアがあります。	サービスエリア：HIGH WAY SERVICE AREA
ハイウェイオアシス	効果音、この先、高速道（※） ハイウェイオアシスがあります。	ハイウェイオアシス：HIGH WAY HIGHWAY OASIS

※ ロードセレクト（⇒ P44）がハイウェイモード、オールモードの時のみ有効です。

道の駅ポイント警報（道の駅 info）

設定 ⇒ GPS 設定 ⇒【▲▼】⇒ 道の駅設定

（設定一覧は P46,47 参照）

本機に登録されている道の駅付近に接近（約 1km）すると､お知らせします。

アナウンス	表示画面
効果音、この先、一般道（※）道の駅があります。	

※ ロードセレクト（⇒ P44）がオールモード、シティーモードの時のみ有効です。

急カーブポイント警報（急カーブポイント info）

設定 ⇒ GPS 設定 ⇒【▲▼】⇒ 急カーブ設定

（設定一覧は P46,47 参照）

本機に登録されている急カーブ付近に接近（約 300m）すると、お知らせします。

アナウンス	表示画面
効果音、この先、高速道（※ 1）（※ 2）急カーブがあります。	

※ 1 ロードセレクト（⇒ P44）がハイウェイモード、オールモードの時のみ有効です。
※ 2 カーブの状況に応じて、右、左、連続のいずれかをアナウンスします。

⚠ 注意

弊社調査による高速道路上の急カーブと思われる位置を登録して警報を行っていますが、下記には注意してください。

- **全ての急カーブポイントで警報するわけではありません。**
- **高速道路の側道（一般道路）を走行中に、その付近の登録ポイントを警報することがあります。**

トンネルポイント警報（トンネルポイント info）

設定 ⇒ GPS 設定 ⇒【▲▼】⇒ トンネルポイント設定

（設定一覧は P46,47 参照）

本機に登録されているトンネル付近に接近（約 1km）すると、お知らせします。

アナウンス	表示画面
効果音、この先、高速道（※ 1）（※ 2）トンネルがあります。	

※ 1 ロードセレクト（⇒ P44）がハイウェイモード、オールモードの時のみ有効です。
※ 2 トンネルの状況に応じて、長い、連続する のいずれかをアナウンスします。

⚠ 注意

弊社調査による高速道路上のトンネル位置を登録して警報を行っていますが、下記には注意してください。
- **全てのトンネルポイントで警報するわけではありません。**
- **高速道路の側道（一般道路）を走行中に、その付近の登録ポイントを警報することがあります。**

県境ポイント警報（県境ポイント info）

設定 ⇒ GPS 設定 ⇒【▲▼】⇒ 県境設定

（設定一覧は P46,47 参照）

県境付近に接近（約 1km）すると、都道府県をお知らせします。

アナウンス
効果音、この先、（※）。

※ 都道府県をアナウンスします。

⚠ 注意

弊社調査による高速道路上の県境位置を登録して警報を行っていますが、下記には注意してください。
- **山間部やトンネル内又は出口付近等の GPS の受信が不安定な場所では警報しない場合があります。**
- **全ての県境ポイントで警報するわけではありません。**
- **高速道路の側道（一般道路）を走行中に、その付近の登録ポイントを警報することがあります。**

※ 1 ロードセレクト（⇒ P44）がハイウェイモード、オールモードの時のみ有効です。

分岐合流ポイント警報（分岐合流ポイント info）

設定 ⇒ GPS 設定 ⇒【▲▼】⇒ 分岐 / 合流設定

（設定一覧は P46,47 参照）

本機に登録されている分岐合流付近に接近（約 500m）すると、お知らせします。

アナウンス	表示画面
効果音、この先、高速道　分岐（又は合流）があります。	分　岐　：HIGH WAY 合　流　：HIGH WAY

※ 分岐と合流のアナウンスは、それぞれ異なります。

⚠ 注意
弊社調査による高速道路上の分岐合流ポイントを登録して警報を行っていますが、下記には注意してください。 **・全ての分岐合流ポイントで警報するわけではありません。また、SA・PA・HO インターチェンジからの分岐合流も警報を行いません。** **・高速道路の側道（一般道路）を走行中に、その付近の登録ポイントを警報することがあります。** **・ジャンクションの形状によっては一つの分岐・合流ポイントで複数回警報することがあります。**

※ 1 ロードセレクト（⇒ P44）がハイウェイモード、オールモードの時のみ有効です。

駐車監視エリア警報（駐車監視エリア info）

設定 ⇒ GPS 設定 ⇒【▲▼】⇒ 駐車監視エリア設定

（設定一覧は P46,47 参照）

平成 19 年 10 月に各警察より発表がありました「最重点地域」、「重点地域」を基に弊社調査による監視（駐禁）エリアが登録されています。監視エリア付近に接近すると、お知らせします。

- OFF ....画面表示と音声アナウンス共に警報しません。
- ON ....画面表示と音声アナウンスで警報します。
- サイレント......画面表示のみで音声アナウンスは行いません。

アナウンス	表示画面
効果音、駐車監視エリアです。	

※ 駐車監視エリア内を走行中は待機画面左下に「駐禁マーク」が表示されます。

⚠ 注意
弊社調査による監視エリアを登録して警報を行っていますが、下記には注意してください。 **・全ての監視エリアで警報するわけではありません。** **・実際の監視エリアと異なるエリアで警報することがあります。**

※ ロードセレクト（⇒ P44）がオールモード、シティーモードの時のみ有効です。

セーフモード設定（セーフティモード info）

設定 ⇒ GPS 設定 ⇒【▲▼】⇒ セーフモード設定

（設定一覧は P46,47 参照）

セーフティウィーク期間中にセーフモードの設定が ALL-ON の場合は、自動的にオールオンモード設定に切替える設定です。

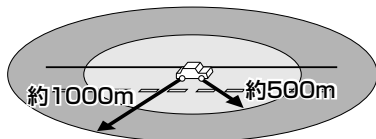
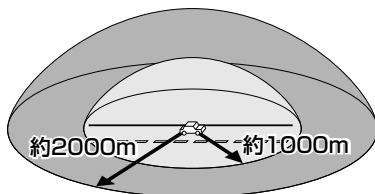
セーフモード期間中に電源が入ると、音声アナウンスと画面表示します。

- ALL-ON..........電源が入ると音声アナウンスと画面表示をして、セーフティウィーク期間中は自動的にオールオンモードになります。
- ON...................電源が入ると音声アナウンスと画面表示をします。セーフティウィーク期間中でもマニュアルモードの設定した状態を保持します。
- OFF.................電源が入っても音声アナウンスと画面表示はしません。セーフティウィーク期間中でもおまかせモード又はマニュアルモードの設定した状態を保持します。

セーフティウィーク	期間 (※)	アナウンス / 表示画面
春の交通安全週間	４月６日～４月 15 日	「春の交通安全週間です」
秋の交通安全週間	９月 21 日～９月 30 日	「秋の交通安全週間です」
年末年始取締り強化期間	12 月 15 日～１月５日	「年末年始取締り強化期間です」

※ 交通安全週間は原則として上記期間ですが、都合により変更となる場合があります。

無線設定

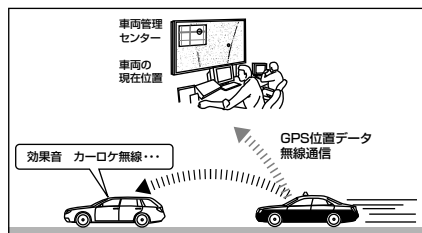
- 本製品は、各種無線の受信感度を OFF/LOW/HI に設定することができます。
- 無線受信を行う場合は、内蔵バッテリーの消費電力が増加するため、シガープラグ電源でのご使用をおすすめします。
- 下図の受信感度 (距離) は直線見通し距離で、間に障害物が無い状態での受信距離目安です。

⚠ 注意

- 放送局や無線中継局の近くを通過する時、強い電波の影響により誤動作する場合があります。また、VHF 帯の放送局の近くを通過する場合は、デジタル無線の受信をすることがあります。
- 使用状況、走行状態、製品取付け位置、周囲の環境（電波状況）によって受信感度（距離）が短くなる場合があります。

カーロケ無線警報

設定 ⇒ **無線設定** ⇒【▲▼】⇒ **カーロケ無線設定**

（設定一覧は P46,47 参照）

カー・ロケーター・システムとは、「無線自動車動態表示システム」といい、緊急車両に装備された GPS 受信機より算出した位置データを無線で定期的（間欠）に各本部の車両管理センターへ送信するシステムです。本製品は緊急車両からの電波を受信し、音声で警報を行い緊急車両の走行を妨げないよう安全な回避を促します。

現在、緊急車両の多くはGPSより算出した位置データを無線で定期的（間欠）に各本部に送信するカー･ロケーター･システムを装備しています。

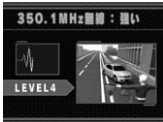
本製品は、各本部へ送信している電波を受信し、音声で警報を行い、緊急車両の走行を妨げないよう安全な回避を促します。

⚠ 注意

- **カー・ロケーター・システムは間欠で送信される為、実際の緊急車両の接近と受信のタイミングにズレが生じることがあります。**
- **緊急車両は走行状態（緊急走行、通常走行、駐停車）によって、電波の送信時間が変化する為、実際の緊急車両の接近と受信のタイミングにズレが生じることがあります。**
- **緊急車両がエンジン停止時は電波の送信を行わない為、本製品での受信はできません。**
- **送信電波の中継局、受信本部近辺では緊急車両の接近に関わらず受信することがあります。**

※ カーロケーターシステム搭載車であっても、使用されていない場合カーロケーター無線を受信できません。現在、受信できる地域であっても、新システムの移行により受信できなくなる場合がありますのであらかじめご了承願います。また、新システムが導入された地域ではカーロケーター無線の警報ができません。

設定項目

◇カーロケ無線受信状況 アナウンス	表示画面
◇遠いカーロケ無線を受信した場合 効果音～カーロケ無線を受信しました。	
◇近いカーロケ無線を受信した場合 効果音～カーロケ無線を受信しました。 緊急車両にご注意ください。	
◇接近するカーロケ無線を受信した場合 効果音～カーロケ無線を受信しました。 接近する緊急車両にご注意ください。	
◇カーロケ無線を受信し、その後カーロケ無線を回避した場合 効果音～カーロケ無線を回避しました。	

350.1MHz 警報（取締り用連絡無線）

設定 ⇒ 無線設定 ⇒【▲▼】⇒ 350.1MHz 無線設定

（設定一覧は P46,47 参照）

取締り用連絡無線で使用する周波数帯で、速度違反取締りやシートベルト装着義務違反取締り等で使用することがあります。また、通話内容をコード化したデジタル無線方式を使用するケースもあり、音声受信ができない場合もあります。

アナウンス	表示画面
効果音～通話音声（デジタル信号はノイズ）～ 350.1 無線を受信しました。	

デジタル無線警報

設定 ⇒ **無線設定** ⇒【▲▼】⇒ **デジタル無線設定**

（設定一覧は P46,47 参照）

- 各警察本部と移動局（緊急車両等）とが行う無線交信で、159MHz 帯～160MHz 帯の電波を受信します。通話内容がコード化（デジタル化）されており通話内容を聞くことはできませんが、音声と表示で警報を行い、付近を走行する緊急車両の走行を妨げないよう安全な回避を促します。
- デジタル無線受信電波の状況によって、遠近識別警報を行います。

状況	アナウンス	表示画面
遠い	効果音～デジタル無線を受信しました。	
近い	効果音～デジタル無線を受信しました。 緊急車両にご注意ください。	
接近	効果音～デジタル無線を受信しました。 接近する緊急車両にご注意ください。	

署活系無線警報

設定 ⇒ **無線設定** ⇒【▲▼】⇒ **署活系無線設定**

（設定一覧は P46,47 参照）

パトロール中の警察官が警察本部や他の警察官との連絡用として使用している無線交信の電波を受信します。

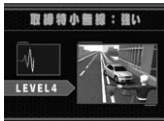
アナウンス	表示画面
効果音～署活系無線を受信しました。	

ワイド無線警報

設定 ⇒ **無線設定** ⇒【▲▼】⇒ **ワイド無線設定**

（設定一覧は P46,47 参照）

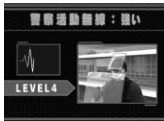
Wireless Integrated Digital Equipment の略称。336 ～ 338MHz 帯を使用している警察専用の自動車携帯電話システムのこと。移動警察電話（移動警電）ともいいます。

状況	アナウンス	表示画面
遠い	効果音～ワイド無線を受信しました。	
近い	効果音～ワイド無線を受信しました。 緊急車両にご注意ください。	
接近	効果音～ワイド無線を受信しました。 接近する緊急車両にご注意ください。	

取締特小無線警報

設定 ⇒ **無線設定** ⇒【▲▼】⇒ **取締特小無線設定**

（設定一覧は P46,47 参照）

シートベルト、一旦停止など取締現場では普通 350.1MHz 無線を使用しますが、取締の連絡用などに特定小電力無線を使用する場合があります。

アナウンス	表示画面
効果音～通話音声～ 取締特小無線を受信しました。	

警察活動無線警報

設定 ⇒ **無線設定** ⇒【▲▼】⇒ **警察活動無線設定**

（設定一覧は P46,47 参照）

機動隊が主に災害や行事に使用する無線です。

アナウンス	表示画面
効果音～警察活動無線を受信しました。	

パトロールエリア警報（パトロールエリア info）

設定 ⇒ **無線設定** ⇒【▲▼】⇒ **パトロールエリア設定**

（設定一覧は P46,47 参照）

検問などで使用されている一定の無線電波を受信するエリアです。

アナウンス	表示画面
効果音〜パトロールエリアです。ご注意ください。	パトロールエリア：強い LEVEL4

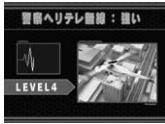
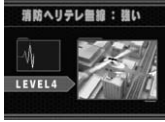
アドバイス

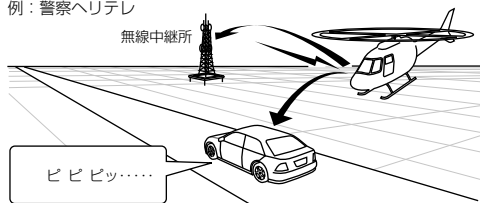
受信感度の調整はありません。カーロケ、350.1MHz、デジタル、署活系、ワイド、取締特小、警察ヘリテレ、警察活動無線の内 2 つ以上の設定が ON になっていないと、パトロールエリア警報は行いません。
必ず検問、取締等を行っているとは限りません。

警察／消防ヘリテレ無線警報

設定 ⇒ **無線設定** ⇒【▲▼】⇒ **警察ヘリテレ無線設定**

設定 ⇒ **無線設定** ⇒【▲▼】⇒ **消防ヘリテレ無線設定**

（設定一覧は P46,47 参照）

「ヘリコプター画像伝送システム連絡用無線」の略称で警察ヘリテレは警察所属のヘリコプターから全国にある無線中継所に送信される無線通信のことです。主に事件・事故等の情報収集、取締り等の時に上空と地上とで連絡を取るために使われています。ヘリコプターから無線中継所間の電波を受信し、事件・事故等の情報を事前に知ることができ安全な回避を促します。また消防ヘリテレは火事等の事故処理や連絡用として使われています。

例：警察ヘリテレ

※一部地域又は、一部ヘリコプターにはヘリテレ無線が装備されていない為、本製品では受信できないことがあります。
※ヘリテレ無線は、ヘリコプターが電波を送信した時のみ受信することができます。
※送信電波の中継所周辺ではヘリコプターの接近に関わらず受信することがあります。（警察ヘリテレのみ）

受信種類	アナウンス	表示画面
警察ヘリテレ	効果音～通話音声～ 警察ヘリテレ無線を 受信しました。	
消防ヘリテレ	効果音～通話音声～ 消防ヘリテレ無線を 受信しました。	

新救急無線警報

設定 ⇒ **無線設定** ⇒【▲▼】⇒ **新救急無線設定**

（設定一覧は P46,47 参照）

救急車と消防本部の連絡用無線として使用しています。主に首都圏で使用されています。

アナウンス	表示画面
効果音～通話音声～ 新救急無線を受信しました。	

消防無線警報

設定 ⇒ **無線設定** ⇒【▲▼】⇒ **消防無線設定**

（設定一覧は P46,47 参照）

消防車が消火活動中や移動時に連絡用として使用している無線です。

アナウンス	表示画面
効果音～通話音声～ 消防無線を受信しました。	

レッカー無線警報

設定 ⇒ **無線設定** ⇒【▲▼】⇒ レッカー無線設定

（設定一覧は P46,47 参照）

東名、名神の一部高速道路や一部地域でレッカー業者が駐車違反や事故処理などの時に業務用無線を使用しています。

※ 一般の業務用無線と同じ周波数の為､地域によっては一般業務無線を受信することもあります。

アナウンス	表示画面
効果音～通話音声～ レッカー無線を受信しました。	

高速管理車両無線警報

設定 ⇒ **無線設定** ⇒【▲▼】⇒ 高速管理無線設定

（設定一覧は P46,47 参照）

東日本、中日本、西日本の高速道路株式会社が使用している業務連絡無線です。おもに渋滞や工事、事故情報等でパトロール車両と本部との連絡に使用します。

アナウンス	表示画面
効果音～通話音声～ 高速管理車両無線を受信しました。	

警備無線警報

設定 ⇒ **無線設定** ⇒【▲▼】⇒ **警備無線設定**

（設定一覧は P46,47 参照）

・各地の警備会社が使用する無線です。

アナウンス	表示画面
効果音〜通話音声〜 警備無線を受信しました。	

タクシー無線警報

設定 ⇒ **無線設定** ⇒【▲▼】⇒ **タクシー無線設定**

（設定一覧は P46,47 参照）

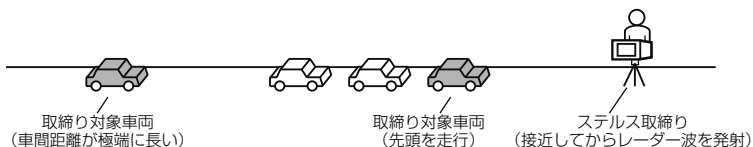
・各地のタクシー会社が使用する無線です。

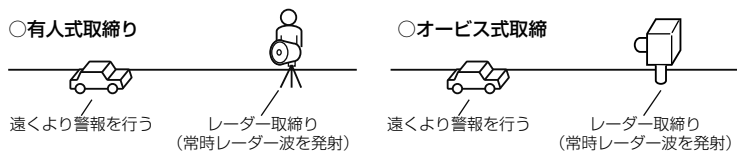
アナウンス	表示画面
効果音〜通話音声〜 タクシー無線を受信しました。	

取締まりの種類と方法

レーダー式の取締り

● ステルス式取締り方法（有人式取締り）

取締り対象の車が取締り機の近くに接近してから、レーダー波を発射する狙い撃ち的な取締り方式です。走行車両の先頭や、前方走行車との車間距離が極端に長い場合等に測定されるケースが多く、100m 以下の至近距離でレーダー波を発射するため、受信できなかったり、警報が間に合わないことがありますので、先頭を走行するときは、注意が必要です。

● レーダー式取締り方法（有人式取締り／オービス式取締り）

レーダー波を常時発射し、通過する車両の速度を測定します。また、オービス式の場合は､違反車両を自動的に写真撮影します。多くの取締り現場に採用しておりレーダー波も 500m 以上の距離から受信することができます。また、オービス式であれば、本製品に位置データが登録してある場合、GPS 警報として最長 2km より警報を行います。

● 新 H システム式取締り方法（オービス式取締り）

レーダー波を間欠発射し、通過する車両の速度を測定し違反車両の写真撮影を自動で行い、警察本部の大型コンピュータへ専用回線で転送されます。レーダー波として警報する場合、対向車線のレーダー波を受信したり、間欠発射しているため受信距離が極端に短くなる場合があります。また、本製品に位置データが登録してある場合、GPS 警報として最長 2km より警報を行います。

● 移動オービス式／パトカー車載式取締り方法

ワンボックス車の後部にレーダー式オービスを搭載し、違反車両を取締る移動オービスとパトカーの赤色灯を改良して取締り機を搭載したパトカー車載式があります。どちらも出力の強いレーダー波を発射しますので、500m 以上の距離から受信することができます。

※ 移動オービスで、本製品で探知できない光電管式もあります。

● ダブルオービス式取締り方法

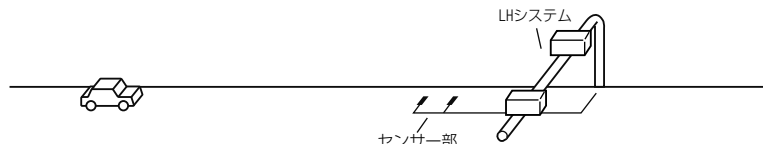
固定式オービスの先に移動式オービスを設置することで、固定式オービス通過後に速度を上げる車両をねらい撃ちする二重オービスの呼称です。

レーダー式以外の取締り

● ループコイル式取締り方法（オービス式取締り）

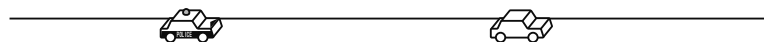
測定区間の始めと終わりに磁気スイッチ（金属センサー）を路面下、中央分離帯等に埋め込み、通過時間から速度を算出し、違反車両の写真を撮影します。本製品に位置データが登録してある場合、GPS 警報として最長 2km より警報を行います。

● LH システム式取締り方法（オービス式取締り）

速度計測部がループコイル方式で、違反車両の写真撮影が H システム方式の取締り機です。従来のレーダー探知機では警報ができませんでした。本製品では位置データが登録してある場合、GPS 警報として最長 2km より警報を行います。

● 光電管式取締り方法（有人式取締り）

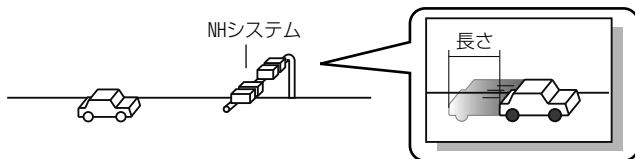
2 点間に置かれたセンサーの通過時間から速度を算出し、違反車両を特定します。

● 追尾式取締り方法

パトカー・覆面パトカー・白バイ等が、一定の車両間隔を保った状態で後方を追尾し、走行速度を測定し記録します。

アドバイス

光電管式取締方法（有人式取締り）及び追尾式取締り方法はレーダー波を発射しないタイプの取締り方法のため本製品では探知できません。（光電管式取締方法に関しては本製品のチェックポイントに登録されている地点（⇒ P66) であれば GPS 警報を行います。）

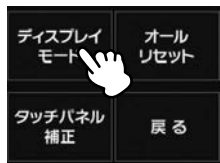
● NH システム式取締まり方法

通過車両を一定のシャッタースピードで撮影し、写真画像の残像をコンピュータで解析し残像の度合いによって走行速度を割出すシステムです。現在は車両識別用監視カメラとして稼動していますが、将来的には取締りに使用される可能性があります。

ディスプレイモード（販売店向け機能）

レーダー本体の一連の動きをデモンストレーションします。本製品を店頭ディスプレイとして使用する場合に、設定してください。

設定方法

1. 電源スイッチを OFF の状態にする
2. 再度、電源スイッチを ON にして、オープニング画面が表示中に画面をタッチする

3. 【ディスプレイモード】をタッチする
   ・［ディスプレイモード設定画面］が表示されます。

4. 【設定】をタッチする
   ・「効果音、ディスプレイモード設定しました」とアナウンスし、ディスプレイモードが開始されます。

アドバイス

ディスプレイモード時の音量調整方法
ディスプレイモード中に画面をタッチし、【音量】をタッチすると［音量設定画面］（⇒ P21）が表示されます。

ディスプレイモード解除方法
ディスプレイモード中に画面をタッチし、【解除】をタッチすると「効果音、ディスプレイモード解除しました」とアナウンスし、ディスプレイモードが解除されます。

初期状態に戻す（データリセット）

登録したすべてのデータをリセット (初期化) し、お買い上げ時の状態に戻します。

⚠ 警告
・消去したデータの復元はできません。 **・お買い上げ時にあらかじめ登録してあるデータは消去できません。** **・ディスプレイモード中はデータリセットできません。**

リセット方法

1. 電源スイッチを OFF の状態にする
2. 再度、電源スイッチを ON にして、オープニング画面が表示中に画面をタッチする

3. 【オールリセット】をタッチする
   ・［オールリセット画面］が表示されます。

4. 【開始】をタッチする
   ・「効果音、オールリセットしました」とアナウンスされれば、リセット完了です。

タッチパネルの補正をする

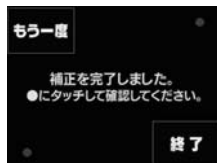
画面をタッチした時に、実際に押したところとズレがある場合や、反応が悪い場合はタッチパネルの補正を行ってください。

補正方法

1. 電源スイッチを OFF の状態にする
2. 再度、電源スイッチを ON にして、オープニング画面が表示中に画面をタッチする

3. 【タッチパネル補正】をタッチする
   - ［タッチパネル補正画面］が表示されます。

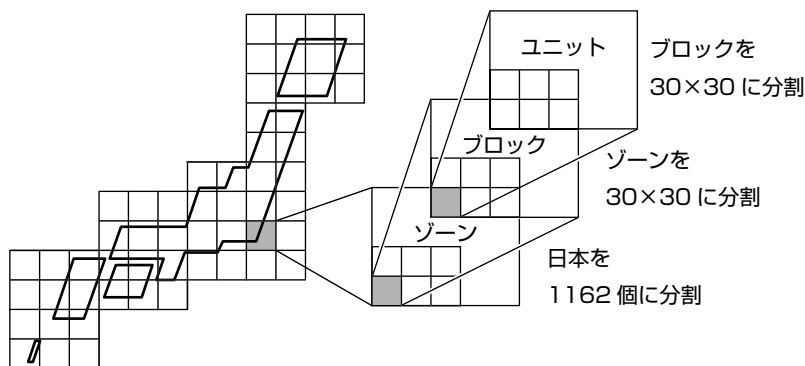
4. 画面の指示に従い【●】をタッチする
   - 正確にタッチ出来ていると【●】の色が変わります。

5. 補正が終了すると、[補正終了画面] が表示されますので左下・右上の【●】をタッチし、確認をした後、【終了】をタッチしてください。
   - 再度補正を行う場合は、【もう一度】をタッチしてください。

マップコードについて

通常位置情報を管理する場合は緯度経度を用いるのが一般的ですが、マップコードは緯度経度に比べ桁数が少ないのでデータ容量を小さくすることができ、覚えやすいのが特徴です。
また、マップコードに対応したカーナビ、WEB サイトやアプリケーションを使用すれば、携帯電話やインターネットを使って場所の特定が簡単にできます。

（例）
① 待ち合わせの時に、自分のいる場所のマップコードを相手に教えれば、相手が携帯電話やインターネット、カーナビを使って簡単に場所を確認できます。
② 旅の途中で立ち寄った場所をマップコードで覚えておいて、後で確認することができます。
③ 住所や電話番号で検索できないような場所（山や川等）でも簡単に目的地設定ができます。

マップコードの構成

マップコードは日本を大まかに分割し（ゾーン）、それをさらに分割したもの（ブロック、ユニット）で構成されています。
このゾーン、ブロック、ユニットの番号を並べた物がマップコードです。

※ マップコードは㈱デンソーの登録商標です。
※ マップコードはマップコード対応のカーナビ、PND、携帯電話のコンテンツでご利用できます。
※ 詳しくはマップコードオフィシャルサイト（http://www.e-mapcode.com/）へ

マップクリップ®について

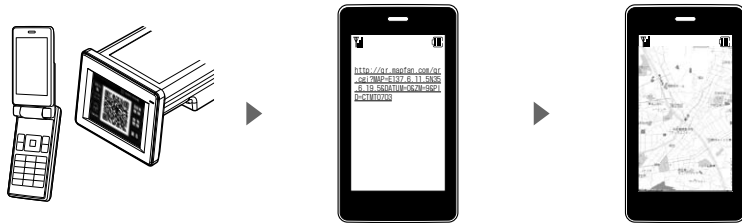
「マップクリップ」とは QR コードを読み取るだけで、見ている地図を瞬時にケータイへ持ち出すことができるサービスです。

地図 1 画面の閲覧は無料！

QR コードで読み取った地図 1 画面の閲覧は無料です（通信費別途）。

① 駐車場と目的地がちょっと離れているので、「車を降りたら、目的地までの行き方がわからなくなった！」場合など、マップクリップ機能で簡単に携帯電話に現在地地図を表示することが出来ます。

② iMapFan、ケータイ地図 MapFan を利用すれば、周辺のグルメスポットや、コンビニ、駐車場等を簡単に検索できます。
※ 別途、iMapFan、ケータイ地図 MapFan の契約が必要になります。

③ iMapFan、ケータイ地図 MapFan を利用すれば、待ち合わせなど、自分のいる場所の地図を相手の携帯電話にそのままメールで送ることができます。（ここです！メール機能）
※ 別途、iMapFan、ケータイ地図 MapFan の契約が必要になります。

QR コード対応の携帯電話で QR コードを撮影します。

QR コードに入っている URL 情報が表示されます。

URL にアクセスすると現在位置の地図画面が表示されます。

アドバイス

- 「マップクリップ」は、インクリメント P 株式会社の登録商標です。
- QR コードは株式会社デンソーウェーブの登録商標です。
- 「マップクリップ」の機能は、ドコモ、au、ソフトバンクの携帯電話でご利用いただけます。
- QR コードの読取りに対応していない機種もあります。
- QR コードで読取った地図の閲覧は無料です（通信費はお客様の負担となります）。
- 携帯電話に表示された地図は「iMapFan（ドコモ）」･「ケータイ地図 MapFan」（au･ソフトバンク）の地図サービスを利用しています。これらのサービスの有料会員（共に 315 円 / 月額税込）の方は、地図スケールの縮尺変更や地図の移動ができます。
- 「マップクリップ」のサービスは、予告なく変更･中断･中止される場合があります。
- 詳しくは「マップクリップ」URL(http://www.mapfan.com/mapclip) にアクセスください。
- QR コードの読取り方法は、各機種端末の取扱説明書をご確認ください。
- 汚れや傷、光の反射などによっては、読取れない場合があります。

故障かな？と思ったら

製品に異常があった場合、下記内容をご確認ください。

症　状	ここをチェックしてください。	参照ページ
電源が入らない	●電源スイッチは ON になっていますか？ ●シガープラグコードが抜けかかっていませんか？ ●車両シガーソケットを分岐していませんか？	16 ページ 9 ページ 4 ページ
ソーラーバッテリー動作時、電源 / 振動ランプがつかない	●十分な充電がしてありますか？	8 ページ
GPS 衛星を受信しない	●フロントガラスが断熱ガラス等ではありませんか？ ●レーダー本体は正しく取付けられていますか？ ●周辺（アンテナ上部）に電波を遮断する物がありませんか？	4 ページ 11 ～ 13 ページ 11 ページ
警報をしない	●音量は正しく設定してありますか？ ●走行エリアの設定は正しく設定してありますか？ ● LSC-V/LSC-i 機能が作動していませんか？	21 ページ 44 ページ 50,51 ページ
GPS 警報をしない場合	●周辺（アンテナ上部）に電波を遮断する物がありませんか？ ●反対（対向）車線上のオービスではありませんか？ ●オービス・N システム以外のカメラではありませんか？ ● N システム警報の設定は OFF になっていませんか？ ●新たに設置されたオービス・N システムではありませんか？ ●誤って警報キャンセルを設定していませんか？ ●走行エリアの設定は正しく設定してありますか？	11 ページ 60 ページ 58,65 ページ 46,47 ページ 37 ページ 29 ページ 44 ページ
レーダー警報をしない場合	●レーダー式以外の取締りではありませんか？ ●誤ってレーダーキャンセルを設定していませんか？ ●レーダー受信感度は適正ですか？	86,87 ページ 28 ページ 48,49 ページ
無線警報しない場合	●各無線の設定は ON になっていますか？ ●シガープラグコード接続が必要な無線警報ではないですか？	46,47 ページ 10 ページ
LSC-V/LSC-i 機能が働かない	● LSC-V/LSC-i 機能は正しく設定してありますか？	50,51 ページ
ASC-V/ASC-i 機能が働かない	● ASC-V/ASC-i 機能は正しく設定してありますか？	48,49 ページ
ユーザーポイントの登録ができない	●周辺（アンテナ上部）に電波を遮断する物がありませんか？ ●ユーザーポイントを 100 件以上登録していませんか？	11 ページ 26 ページ
レーダーキャンセルポイントの登録ができない	●周辺（アンテナ上部）に電波を遮断する物がありませんか？ ●レーダーキャンセルポイントを 50 件以上登録していませんか？	11 ページ 28 ページ
設定したモードにならない	●おまかせカンタン設定がマニュアルモードになっていますか？	42 ページ
ディスプレイがまっ黒表示になる	●ディスプレイの動作温度範囲を超えていませんか？	6 ページ
画面をタッチした時に、押した位置とズレがある	●タッチパネルの補正を行ってください。	90 ページ

付録

症　状	ここをチェックしてください。	参照ページ
画面をタッチしても音がしない	●音量は正しく設定してありますか？ ●タッチ音の設定が OFF になっていませんか？	21 ページ 21 ページ

≪データ更新について≫

症　状	ここをチェックしてください。	参照ページ
フォーマットができない	●ダウンロードしたデータを microSD カードに入れた状態でフォーマットしていませんか？	37 ページ
ファイルが見つからない	●ダウンロードしたデータはデスクトップ上にありますか？	37 ページ
更新できない	●ダウンロードしたデータは解凍しましたか？	37 ページ

製品仕様

レーダー本体

電源電圧	DC12V 専用
最小消費電流	15mA 以下
最大消費電流	250mA
受信方式	パラレル 18ch ダブルスーパーヘテロダイン
測位更新時間	最短 1 秒
検波方式	FM トラッキングタイムカウント方式
動作温度範囲	-10℃～ 60℃
本体サイズ	71（W）× 105（L） × 30（H）／ mm（バッテリー部除く）
液晶フロント部サイズ	76（W）× 59（H）／ mm
液晶ディスプレイ表示面積	49.9（W）× 37.4（H）／ mm 2.5 インチ TFT
重量	200 g（充電池含む）

受信周波数
- GPS（1575.42MHz）
- X バンド（10.525GHz）
- K バンド（24.200GHz）
- 取締り用連絡無線（350.1MHz 帯）
- カー･ロケーター･システム（407MHz 帯）
- デジタル無線（159MHz 帯～ 160MHz 帯）
- 署活系無線（347MHz 帯、361MHz 帯）
- ワイド無線（336MHz 帯～ 338MHz 帯）
- 警察ヘリテレ無線（340MHz 帯～ 372MHz 帯）
- 消防ヘリテレ無線（382MHz 帯～ 383MHz 帯）
- 取締特小無線（422MHz 帯）
- レッカー無線（154MHz 帯、465MHz 帯～ 468MHz 帯）
- 新救急無線（371MHz 帯）
- 消防無線（466MHz 帯）
- 高速管理車両無線（383MHz 帯）
- 警察活動無線（162MHz 帯）
- 警備無線（468MHz 帯）
- タクシー無線（458MHz 帯～ 459MHz 帯、467MHz 帯）

さくいん